

IN THE UNITED STATES PATENT AND TRADEMARK OFFICE

In re Patent Application of)	
)	
Shoji KONDO et al.)	Group Art Unit: Unassigned
)	
Application No.: Unassigned)	Examiner: Unassigned
)	
Filed: February 5, 2001)	
)	
For: IMAGE OUTPUT SYSTEM CAPABLE)	
OF APPROPRIATELY PROVIDING)	
PRINTING SERVICE FOR FREE OR)	
SMALL CHARGE)	
)	



CLAIM FOR CONVENTION PRIORITY

Assistant Commissioner for Patents
Washington, D.C. 20231

Sir:

The benefit of the filing date of the following prior foreign application in the following foreign country is hereby requested, and the right of priority provided in 35 U.S.C. § 119 is hereby claimed:

Japanese Patent Application No. 2000-298625

Filed: September 29, 2000

In support of this claim, enclosed is a certified copy of said prior foreign application. Said prior foreign application was referred to in the oath or declaration. Acknowledgment of receipt of the certified copy is requested.

Respectfully submitted,

BURNS, DOANE, SWECKER & MATHIS, L.L.P.

Date: February 5, 2001

By:

Platon N. Mandros

Registration No. 22,124

P.O. Box 1404
Alexandria, Virginia 22313-1404
(703) 836-6620

BEST AVAILABLE COPY

日 本 国 特 許 庁

PATENT OFFICE
JAPANESE GOVERNMENT

J1033 U.S. PTO
09/775821
02/05/01

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office.

出 願 年 月 日
Date of Application:

2000年 9月29日

出 願 番 号
Application Number:

特願2000-298625

出 願 人
Applicant(s):

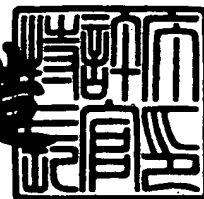
ミノルタ株式会社

CERTIFIED COPY OF
PRIORITY DOCUMENT

2000年11月 6日

特許庁長官
Commissioner,
Patent Office

及 川 耕 造



出証番号 出証特2000-3091770

【書類名】 特許願
 【整理番号】 1001494
 【提出日】 平成12年 9月29日
 【あて先】 特許庁長官殿
 【国際特許分類】 G06T 1/00
 H04N 1/00
 H04N 1/387
 G03G 21/02
 G03G 15/36

【発明者】
 【住所又は居所】 大阪府中央区安土町二丁目 3 番 1 3 号大阪国際ビル ミ
 ノルタ株式会社内
 【氏名】 近藤 昇司

【発明者】
 【住所又は居所】 大阪府中央区安土町二丁目 3 番 1 3 号大阪国際ビル ミ
 ノルタ株式会社内
 【氏名】 井上 二三夫

【特許出願人】
 【識別番号】 000006079
 【住所又は居所】 大阪府中央区安土町二丁目 3 番 1 3 号大阪国際ビル
 【氏名又は名称】 ミノルタ株式会社

【代理人】
 【識別番号】 100064746
 【弁理士】
 【氏名又は名称】 深見 久郎

【選任した代理人】
 【識別番号】 100085132
 【弁理士】
 【氏名又は名称】 森田 俊雄

【選任した代理人】

【識別番号】 100096792

【弁理士】

【氏名又は名称】 森下 八郎

【手数料の表示】

【予納台帳番号】 008693

【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

【物件名】 明細書 1

【物件名】 図面 1

【物件名】 要約書 1

【ブルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 画像出力システム

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 広告主からの副画像データを登録する登録手段と、

ユーザからの主画像データを取得する取得手段と、

プリント出力要求を受け付ける受付手段と、

前記受け付けられたプリント出力要求に応じて、前記取得された主画像データ
および前記登録された副画像データを同一媒体上にプリント出力する出力手段と

前記登録手段に副画像データが所定数登録されているか否かを判断する判断手
段と、

前記判断手段により所定数登録されていないと判断された場合、前記出力手段
によるプリント出力を制限する制限手段とを含む、画像出力システム。

【請求項 2】 広告主からの副画像データを登録する登録手段と、

前記登録された副画像データに関するプリント出力の制限情報を取得する制限
情報取得手段と、

ユーザからの主画像データを取得する主画像データ取得手段と、

プリント出力要求を受け付ける受付手段と、

前記受け付けられたプリント出力要求に応じて、前記取得された主画像データ
および前記登録された副画像データを同一媒体上にプリント出力する出力手段と

前記出力手段によるプリント出力が前記取得されたプリント出力の制限情報の
範囲内か否かを判断する判断手段と、

前記判断手段により制限情報の範囲内に無いと判断された場合、前記出力手段
によるプリント出力を制限する制限手段とを含む、画像出力システム。

【請求項 3】 広告主からの副画像データを登録する登録手段と、

ユーザからの主画像データを取得する取得手段と、

プリント出力要求を受け付ける受付手段と、

前記受け付けられたプリント出力要求に応じて、前記取得された主画像データ

および前記登録された副画像データを同一媒体上にプリント出力する出力手段と

前記出力手段による同一ユーザに対する出力回数が所定数に達したか否かを判断する判断手段と、

前記判断手段により所定数に達したと判断された場合、前記出力手段によるプリント出力を制限する制限手段とを含む、画像出力システム。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】

本発明は画像出力システムに関し、特に、デジタルカメラで撮影された画像に広告等の副画像を付加してプリントし、無料あるいは低料金で、適切にプリントサービスを行なうことを目的とした画像出力システムに関する。

【0002】

【従来の技術】

近年、デジタルカメラが急激に普及している。通常、デジタルカメラにより撮影された画像は、コンピュータに取込まれ、これに接続されたプリンタからプリントアウトされる。この際、従来の銀塩写真のようなプリント画像をプリントするには、コストが高くなるという問題が生じていた。

【0003】

すなわち、家庭用インクジェットプリンタの性能の向上により、家庭においても写真画質のプリント画像を得ることができる。しかしながら、そのような高画質の画像を得るためには専用のプリント用紙が必要である。専用紙は高価であるため、プリントコストが高くつく。

【0004】

また、DPE (Development Printing Enlargement) 店の中には、デジタルカメラで撮られたデジタル画像をプリントするサービスを行なっているところもある。したがって、このサービスを受けることにより写真画質のプリント画像を得ることもできる。しかしながら、やはり、従来の銀塩写真に比べてそのプリントコストは高い。

【0005】

このようなコスト的な問題を解消するために、宣伝広告をプリント画像に付加してプリントサービスを行なうというシステムが考えられる。すなわち、より効果的な宣伝媒体を求めている広告主が、宣伝広告をプリント画像に付加する代わりにそのプリント料金を支払う。これにより、プリントを希望するユーザに無料、若しくは極めて低料金でデジタルカメラのプリント画像を提供することができる。

【0006】

また、広告主である町の中小の商店や、地域のサークル活動、ボランティア団体、その他の限られた予算内で活動している団体等にとっては、宣伝効果に比べてコストが高い新聞広告、テレビ広告と異なり、このシステムにより、低コストで効果的な宣伝効果を得ることが期待できる。

【0007】

【発明が解決しようとする課題】

しかしながら、上述したようなプリントサービスを行なうシステムであっても、無制限にプリントサービスを行なうことはシステム運営上、適切ではない。

【0008】

すなわち、プリントコストは広告主によって支払われるものであるため、広告主による広告料がある程度以上なければ無料あるいは低価格のプリントサービスを行なうことが困難となる。また、広告主が定めたプリント枚数、広告サイズ等、プリント出力に関する制限情報を超えてまでプリントサービスを行なうことも妥当でない。さらに、悪戯による大量のプリントアウトや、悪戯でなくとも同一ユーザによる大量のプリントアウトも、より高い宣伝効果を望んで料金を支払う広告主の意図に合致するものではない。

【0009】

本発明は、係る実情に鑑み考え出されたものであり、その目的は、ある程度の制限を設けることで、副画像が付加された高画質のプリント画像を、無料あるいは低料金で、より適切に提供することのできる画像出力システムを提供することである。

【 0 0 1 0 】

【課題を解決するための手段】

上記目的を達成するため、本発明のある局面に従うと、画像出力システムは、広告主からの副画像データを登録する登録手段と、ユーザからの主画像データを取得する取得手段と、プリント出力要求を受け付ける受付手段と、受け付けられたプリント出力要求に応じて、取得された主画像データおよび登録された副画像データを同一媒体上にプリント出力する出力手段と、登録手段に副画像データが所定数登録されているか否かを判断する判断手段と、判断手段により所定数登録されていないと判断された場合、出力手段によるプリント出力を制限する制限手段とを含む。

【 0 0 1 1 】

この発明によると、ユーザからのプリント出力要求に応じて、主画像データと副画像データとが同一媒体上にプリント出力される。このときのプリントコストは副画像データの提供者である広告主が支払うため、ユーザは無料あるいは低料金で、高画質のプリント画像を得ることができる。そして、登録手段に副画像データが所定数登録されていない場合は、副画像データと主画像データの同一媒体上へのプリント出力が制限される。広告主によるプリントコストの支払いが可能な範囲を超えた場合は無料あるいは低料金のプリントが制限されるため、より適切にプリントサービスを提供することができる。

【 0 0 1 2 】

したがって、ある程度の制限を設けることで、副画像が付加された高画質のプリントを、無料あるいは低料金で、より適切に提供することのできる画像出力システムを提供することが可能となる。

【 0 0 1 3 】

また、本発明の別の局面に従うと、画像出力システムは、広告主からの副画像データを登録する登録手段と、登録された副画像データに関するプリント出力の制限情報を取得する制限情報取得手段と、ユーザからの主画像データを取得する主画像データ取得手段と、プリント出力要求を受け付ける受付手段と、受け付けられたプリント出力要求に応じて、取得された主画像データおよび登録された副

画像データを同一媒体上にプリント出力する出力手段と、出力手段によるプリント出力が、取得されたプリント出力の制限情報の範囲内か否かを判断する判断手段と、判断手段により制限情報の範囲内ないと判断された場合、出力手段によるプリント出力を制限する制限手段とを含む。

【 0 0 1 4 】

この発明によると、ユーザからのプリント出力要求に応じて、主画像データと副画像データとが同一媒体上にプリント出力される。このときのプリントコストは副画像データの提供者である広告主が支払うため、ユーザは無料あるいは低料金で、高画質のプリント画像を得ることができる。また、副画像データに対する出力数や出力サイズ等の制限情報が取得され、副画像データと主画像データの同一媒体上へのプリント出力が、この制限情報の範囲内でない場合、出力制限がなされる。このため、取得された制限情報に応じた適切なプリント出力を行なうことが可能となる。

【 0 0 1 5 】

したがって、ある程度の制限を設けることで、副画像が付加された高画質のプリントを、無料あるいは低料金で、より適切に提供することのできる画像出力システムを提供することが可能となる。

【 0 0 1 6 】

本発明のさらに別の局面に従うと、画像出力システムは、広告主からの副画像データを登録する登録手段と、ユーザからの主画像データを取得する取得手段と、プリント出力要求を受け付ける受付手段と、受け付けられたプリント出力要求に応じて、取得された主画像データおよび登録された副画像データを同一媒体上にプリント出力する出力手段と、出力手段による同一ユーザに対する出力回数が所定数に達したか否かを判断する判断手段と、判断手段により所定数に達したと判断された場合、出力手段によるプリント出力を制限する制限手段とを含む。

【 0 0 1 7 】

この発明によると、ユーザからのプリント出力要求に応じて、主画像データと副画像データとが同一媒体上にプリント出力される。このときのプリントコストは副画像データの提供者である広告主が支払うため、ユーザは無料あるいは低料

金で、高画質のプリント画像を得ることができる。また、同一ユーザによる副画像データと主画像データの同一媒体上へのプリント出力回数が所定数に達した場合、出力制限がなされる。このため、たとえば同一ユーザの大量プリント等が防止され、広告主の意図が反映されたより効果的な宣伝広告を行なうことが可能となる。

【0018】

したがって、ある程度の制限を設けることで、副画像が付加された高画質のプリントを、無料あるいは低料金で、より適切に提供することのできる画像出力システムを提供することが可能となる。

【0019】

【発明の実施の形態】

次に、本発明の実施の形態を図面に基づいて説明する。図1は、本発明の実施の形態におけるフォトキオスク装置100がインターネットに接続された場合のネットワーク構成を示す図である。図1を参照して、フォトキオスク装置100、広告希望者のクライアントコンピュータ300、およびフォトキオスク装置100を運営する運営者のホストコンピュータ200は、それぞれインターネット500に接続されている。

【0020】

フォトキオスク装置100の運営者は、広告希望者に対して広告の登録を可能とすべく、ホームページを提供する。したがって、広告希望者は、クライアントコンピュータ300からホストコンピュータ200のホームページにアクセスし、ホームページから所望のフォトキオスク装置100に対して広告の登録を行なうことができる。

【0021】

なお、広告希望者は、直接、フォトキオスク装置100の設置されている場所に出向いて広告の登録を行なうこともできる。

【0022】

フォトキオスク装置100とホストコンピュータ200とはリアルタイムまたは所定時間間隔で通信が行なわれており、両者間で、新規広告の登録追加処理や

登録の承認処理等が行なわれる。

【0023】

次に、本実施の形態におけるフォトキオスク装置100の構成について、図2および図3を用いて説明する。図2は、本実施の形態におけるフォトキオスク装置100の全体構成を説明するための図であり、図3は、図2のコンピュータ101をより詳細に示したフォトキオスク装置100の機能ブロック図である。

【0024】

図2および図3を参照して、フォトキオスク装置100は、コンピュータ101を中心として、タッチパネルモニタ103、コインユニット105、レシートプリンタ107、写真プリンタ109、フラットベッドスキャナ111、およびカードリーダー113から構成される。

【0025】

コンピュータ101は、装置全体を制御する制御装置11と、CD-ROMドライブ13と、フロッピーディスクドライブ15と、ハードディスクドライブ17とを含む。なお、コンピュータ101は、通信回線を介してホストコンピュータ200に接続されている。

【0026】

タッチパネルモニタ103は、広告希望者（広告主）や撮影画像をプリントアウトしようとするユーザに対して、ユーザインターフェイスを提供する。操作を促すメッセージを表示すると共に、操作者のタッチ入力による指示命令を受け付ける。

【0027】

コインユニット105は、フォトキオスク装置100の操作を許可するためのものであり、紙幣、硬貨、プリペイドカード、クレジットカード等を受けつける。

【0028】

レシートプリンタ107には、たとえば感熱紙プリンタが使用され、ユーザにレシートを発行する。コンピュータ101との接続には、パラレルインターフェイスまたはUSBが用いられる。

【0029】

写真プリンタ109には、デジタルカメラ50により撮影された画像を、写真画質でプリントすることのできる高画質プリンタが使用される。具体的には、昇華型プリンタ、インクジェットプリンタ、電子写真プリンタ、銀塩プリンタ等いずれのタイプのプリンタが用いられてもよい。なお、コンピュータ101との接続は、パラレルインターフェイスまたはUSBが用いられる。

【0030】

フラットベッドスキャナ111は、広告主が持参した画像をコンピュータ101に取込むときに用いられる。コンピュータ101との接続は、SCSIインターフェイス、パラレルインターフェイス、またはUSBが用いられる。

【0031】

カードリーダー113は、メモリスティック、マルチメディアカード、スマートメディアカード、コンパクトフラッシュカード（いずれも登録商標）等のメモリカードに記憶されている情報を読み取り、コンピュータ101に出力する。コンピュータ101との接続には、SCSIインターフェイス、またはUSBが用いられる。

【0032】

なお、デジタルカメラ50で撮影された画像は、フロッピーディスクやCD-ROMに記憶され、カードリーダー113を介さずに、直接フロッピーディスクドライブ15またはCD-ROMドライブ13に挿入されてコンピュータ101に取り込むことができる。さらに、デジタルカメラ50をシリアルバスやUSBでコンピュータ101と接続することにより、直接画像データを取り込むこともできる。

【0033】

ハードディスクドライブ17には、タッチパネルモニタ103から広告主が登録した広告、通信回線を介して送信されてきた広告、および、それら各広告に関する所定の情報が記憶される。

【0034】

フォトキオスク装置100は、有料プリントモードと無料プリントモードの2

種類のプリントモードを備えている。有料プリントモードは、通常のプリントを行なうモードである。すなわち、ユーザはプリント代金として正規の金額、たとえば1枚100円を支払ってプリントを行なう。この場合、通常通り、プリント用紙の全面にユーザが提供する所望の画像がプリントされる。

【0035】

無料プリントモードは、広告画像を付加したプリントを行なうモードである。すなわち、ユーザが提供する撮影画像のほかに予めハードディスクドライブ17の所定の領域に記憶されている広告画像が1枚のプリント用紙上にプリントされる。この際、プリントに要するコストは広告画像を提供する広告主が負担する。したがって、ユーザの負担料金は低料金（無料であってもよく、または善意のユーザであることを示すに足りる額、たとえば1枚10円程度であってもよい）となる。

【0036】

図4および図5に、無料プリントモードでプリントが行なわれる際のレイアウト例を示す。図4に示す第1のレイアウト例では、1枚のプリント用紙に、左下の〈写真〉エリアと、3つの同程度の大きさの広告エリア、すなわち〈広告1〉、〈広告2〉および〈広告3〉エリアとを有する。〈写真〉エリアには、ユーザの選択した写真がプリントされ、広告エリアにはそれぞれ予め登録されている広告がプリントされる。

【0037】

図5に示す第2のレイアウト例では、1枚のプリント用紙に、異なる大きさの複数の広告エリアが設けられる。これにより、多様な広告主の要望に対応することができる。

【0038】

具体的には、大型広告エリアである〈広告1〉および〈広告2〉エリアと、小型広告エリアである〈広告3〉、〈広告4〉、および〈広告5〉エリアとを有する。〈広告1〉および〈広告2〉エリアは同じ大きさであり、また〈広告3〉、〈広告4〉、および〈広告5〉エリアもそれぞれ同じ大きさである。

【0039】

以下、無料プリントモードについて説明する際には、この大型広告エリアと小型広告エリアを有する第2のレイアウト例（図5）を用いて説明する。

【0040】

有料プリントモードでは、図6に示すように通常、メモ리카ード等に記憶されている撮影画像の中から、ユーザに選択された画像がプリント用紙の全面にプリントされる。したがって、図7に示すように、出力画像として、通常のプリント画像が得られる。

【0041】

なお、有料プリントモードでは、図8に示すように、複数の画像を1枚のプリント用紙にプリントすることもできる。このようなインデックスプリントではメモ리카ード等に記憶されている画像が所定枚数（たとえば16枚）を1組として、プリント用紙の全面にプリントされる。

【0042】

次に、フォトキオスク装置100に広告を登録する際の具体的な手順について説明する。広告主は、フォトキオスク装置100を運営する会社に、口頭で、電話で、ファックスで、またはインターネットで広告登録を申込みことができる。また、フォトキオスク装置100の設置している場所で、直接フォトキオスク装置100を操作して広告の登録を申込みこともできる。

【0043】

まず、広告主が、フォトキオスク装置100を直接操作して広告登録を行なう場合について説明する。フォトキオスク装置100のタッチパネル103上には、図9に示すような初期画面が表示されている。この初期画面には、無料プリントスイッチ、有料プリントスイッチ、および広告登録スイッチが設けられている。なお、これらのスイッチは、CRT上に設けられたタッチスイッチである。

【0044】

無料プリントスイッチの下には、無料プリントのサンプルが表示されている。そして、有料プリントスイッチの下には、有料プリントのサンプルが表示されている。

【0045】

無料プリントスイッチに触れると、フォトキオスク装置100は、デジタルデータを無料でプリントする無料プリントモードに入る。有料プリントスイッチに触れると、デジタルデータを有料でプリントする有料プリントモードに入る。そして、広告登録スイッチに触れると、フォトキオスク装置100を直接的に操作して無料プリント上に掲載させる広告を登録する広告登録モードに入る。

【0046】

広告登録を希望する広告主は、この初期画面で、広告登録スイッチに触れる。広告登録スイッチに触れると、図10に示すクレジットカードの挿入を促す画面が表示される。

【0047】

広告主は、「クレジットカードを挿入し、ゆっくりと抜いて下さい」と表示されたメッセージに従い、有効なクレジットカードをコインユニット105のカード挿入スロットに挿入し、ゆっくりと引き抜く。なお、広告登録に先立ってクレジットカードの入力を要求するのは、悪戯による操作を防止するためである。

【0048】

クレジットカードが引き抜かれると、図11に示す画面が表示される。ここでは、広告主の広告に関する希望事項を入力するための画面が表示される。本図に示すように、希望事項としては、たとえば、「広告の大きさ」、「プリント枚数」、および「希望対象客」が表示される。また、希望事項の他に、「連絡先電話番号」、「広告入力方法」等、広告登録に必要な事項についても表示される。

【0049】

「広告の大きさ」は、大型か小型、いずれの広告サイズを希望するかを広告主を選択させるものである。大型は、図9に示した<広告1>および<広告2>エリアに対応するサイズであり、広告料金は1プリント当たり40円である。小型は、大型サイズの約3分の1の大きさであり、図9に示した<広告3>、<広告4>および<広告5>エリアに対応するサイズである。なお、広告料金は1プリント当たり10円である。

【0050】

この画面では、広告主が小型広告を希望し、「小型」スイッチに触れているた

め、「小型」スイッチが反転表示されている。

【0051】

「プリント枚数」には、広告主が希望する広告枚数が選択される。この画面上には、100枚、200枚、300枚、400枚、500枚、1000枚の枚数選択スイッチが設けられている。参考として、各枚数スイッチの下段には、その枚数に対応する料金が表示される。ここでは、上段において小型広告が選択されたので、料金としては1プリント10円として計算されている。なお、大型が選択されたときは、1プリント40円としてその料金が表示される。

【0052】

ここでは、広告主が100枚のプリントを希望し、「100枚」スイッチに触れている。したがって、「100枚」選択スイッチが反転表示されている。

【0053】

「希望対象客」には、広告主が広告を希望する対象客の条件が入力される。具体的には、性別、年齢、職業、結婚等の条件である。なお、この画面では、すべての顧客に対して宣伝広告が希望されており、すべての項目において「全」選択スイッチが選択されている。

【0054】

「連絡先電話番号」には、広告主の連絡先電話番号が入力される。電話番号表示部の右横にはテンキースイッチが設けられている。したがって、広告主は、テンキースイッチをタッチすることにより自分の電話番号を入力する。入力された電話番号は、電話番号表示部に表示される。

【0055】

「広告入力方法」では、広告入力としてスキャナ入力を行なうかキー入力を行なうかの選択がなされる。すなわち、広告主が希望する広告をフラットベッドスキャナ111で読み込むか（スキャナモード）、またはタッチパネルモニタ103を使ってキー入力するか（キー入力モード）が選択される。ここでは、「キー入力」が選択されたため、「キー入力」スイッチが反転表示されている。

【0056】

そして、これらの入力が完成し、「入力完了」スイッチに触れると、「入力完

了」スイッチが反転表示され、次の「キー入力画面」に切り替わる。

【0057】

図12は、次に表示されるキー入力画面を表わす図である。キー入力画面の上部には、キー入力された文字を表示する表示部がある。表示部の下部には、キー入力するためのキーボードが表示されている。キーに対応する部分はタッチスイッチとなっている。

【0058】

このキー入力モードにおいては、広告主は、小型広告の場合、16文字3列（和文）または32文字3列（英文）の文字入力が可能である。一方、大型広告の場合、20文字9列（和文）または40文字9列（英文）の文字入力が可能である。

【0059】

本図においては、小型広告の場合を表示している。広告主は、キーボードをタッチしながら希望する文字を入力する。そして入力操作が完了し、「入力完了」スイッチを押下すると、次の画面が表示される。

【0060】

図13は、広告の入力操作が完了した後に表示される支払確認画面を表わす図である。この画面では、最上部に広告掲載料金（ここではたとえば1000円）が表示され、その金額をクレジットカードに請求してもよいか否かの最終確認のメッセージが表示される。広告主が料金の請求に応じる意思表示として「了解」スイッチに触れると、次の、終了画面に切り替わる。

【0061】

終了画面では、図14に示すように、広告主に「ありがとうございました」のメッセージが所定時間たとえば10秒間表示される。そして、10秒後には、図9に示した初期画面に戻ることになる。

【0062】

なお、入力された広告文は、そのまま登録されるのではなく、フォトキオスク装置100の運営者の承認を受けた後に登録されるようにしてもよい。その理由は、悪意の操作者が、公序良俗に反するような広告文を入力するような場合が想

定されるからである。したがって、そのような広告文は登録を排除され、写真上にプリントされるという不都合が回避される。

【 0 0 6 3 】

このため、図 1 5 に示すような第 2 の支払確認画面を、図 1 3 に示す支払確認画面の代わりに表示するようにしてもよい。図 1 5 では、料金を示すとともに、「広告内容を審査の上、承認されましたら広告を掲載します。」旨の表示を行ない、広告主に運営者がその広告内容を審査することを知らせる。

【 0 0 6 4 】

また、「承認されましたら、上記の料金がクレジットカードに請求されます。」という表示を行ない、審査を通過したときにのみ、すなわち広告文が実際にプリントに掲載されるようになったときにのみ、料金がカードにチャージされることを知らせる。

【 0 0 6 5 】

そしてこれらに対して、「了解」スイッチが押された場合に、広告主によって入力された全情報が、フォトキオスク装置 1 0 0 のハードディスクドライブ 1 7 内に記憶される。

【 0 0 6 6 】

実際の審査は、フォトキオスク装置 1 0 0 のメンテナンス員が装置の設置場所に出向き、ハードディスクドライブ 1 7 内に記憶されている新規広告文を読み出し、その内容を審査することにより行なわれる。そして、メンテナンス員による審査を通過したものが、実際に掲載される広告文としてハードディスクドライブ 1 7 の所定の領域に登録される。

【 0 0 6 7 】

また、フォトキオスク装置 1 0 0 は、新規広告文が入力されたとき、その内容を通信回路を介して、F A X、インターネット 5 0 0 でフォトキオスク装置 1 0 0 の運営者に通知することもできる。その場合、運営者は、ホストコンピュータ 2 0 0 から通信回線を介して、その審査結果をフォトキオスク装置 1 0 0 に送信し、記憶されている新規広告文に承認を与える。そして、承認された新規広告文は、実際に掲載される広告文としてハードディスクドライブ 1 7 の所定の領域に

登録される。

【0068】

なお、審査の結果は、図11で入力された広告主の連絡先に電話で知らせるようにしてもよい。このとき、自動ダイヤル装置および音声合成装置等を用いて、コンピュータが自動的に電話するようにしてもよい。

【0069】

次に、図11の入力画面において、スキャナ入力（スキャナ入力モード）が選択された場合について説明する。図16は、スキャナ入力を選択された場合にタッチパネル103上に表示されるスキャナ入力画面を表わす図である。このスキャナ入力モードでは、予め用意された広告スリップをフラットベッドスキャナ111で読み取らせることができる。

【0070】

スキャナ入力画面の最上部には、「広告文をスキャナにセットし、スタートスイッチを押して下さい。」というメッセージが表示され、広告主に、用意した広告スリップをスキャナにセットし、「スタート」スイッチに触れることを促す。

【0071】

スキャナ入力モードにおいては、小型広告の場合、60mm×15mmの画像入力が可能である。一方、大型広告の場合は、70mm×45mmの画像入力が可能である。

【0072】

広告主が「スタート」スイッチに触れると、フラットベッドスキャナ111がスキャン動作を開始し、読み取った画像を表示部に表示する。スキャン動作が完了すると、「入力が完了しましたか？」というメッセージが表示される。広告主は、表示部に表示された画像を参照して、入力が完了したと判断した場合には、「入力完了」スイッチをタッチする。

【0073】

一方、読取られた画像に歪みが生じたり、また何らかの理由で広告文を変更したい場合等は、「入力破棄」スイッチに触れることにより、表示部に表示されている画像をリセットすることができる。その後は、広告スリップをスキャナに再

セットし、「スタート」スイッチを押して再読み取りを行なうことができる。

【0074】

なお、広告主の用意した広告スリップの大きさが15mm×60mmよりも大きかった場合、スキャナで読取られた画像は自動的に縮小され、15mm×60mmのサイズとされる。

【0075】

スキャナモードでは、キー入力できない画像をも読み込むことができるため、多様な広告文の入力が可能となる。また、キーボード操作に不慣れな広告主にとっても便利なモードである。

【0076】

次に、広告主がフォトキオスク装置100の設置場所に出向きそこで直接入力するのではなく、オフサイトで広告の申込みがなされる場合について説明する。図1のネットワーク構成で示したように、各フォトキオスク装置100、およびこれらのフォトキオスク装置100を運営する運営者のホストコンピュータ200はインターネットに接続されている。したがって、広告主は、自分のコンピュータ（クライアントコンピュータ300）を用いて、運営者のホームページにアクセスし、ホームページから広告の登録を行なうことができる。

【0077】

ホームページからの広告登録の方法について、図17から図22を用いて説明する。

【0078】

フォトキオスク装置100の運営者のホームページにアクセスすると、図17に示すような初期画面がクライアントコンピュータ300の画面に表示される。広告主が、画面右下の「広告登録」スイッチをクリックすると、図18に示す画面に切り替わる。

【0079】

そして、広告主に対して、クレジットカードの番号および有効期限の入力が促される。ここでクレジットカードの情報が入力されないと、次の画面へは進めない。クレジットカード情報が入力され、「確認」のスイッチがクリックされると

、図19に示す画面が表示される。

【0080】

ここでは、広告主に対して広告に関する希望事項の入力を促す画面が表示される。希望事項として表示される「広告の大きさ」、「プリント枚数」、および「希望対象客」は、図11で示したものと同様である。ただし、ここでは、「広告希望フォトキオスク」という項目が新たに設けられている。

【0081】

「広告希望フォトキオスク」では、広告主が広告の掲載を希望するフォトキオスク装置100の設置場所が選択される。各フォトキオスク装置100には、それぞれ、「001」、「002」、「003」等のID番号が付されている。このため、各広告主はそのID番号をクリックすることで希望するフォトキオスク装置100の選択を行なう。

【0082】

なお、各ID番号の下には、実際の場所の情報が記されている。たとえば、「005」の装置は、ZZ大学に設置されている。そして、ZZ大学をクリックすれば、設置場所の写真が見えるようにしてもよい。なお、この画面では、「002」のフォトキオスク装置100が選択されている。

【0083】

なお、図11と異なり、ここでは連絡先電話番号の他にメールアドレスの入力が促される。広告主の連絡先電話番号およびメールアドレスが入力されると、その入力された内容がそれぞれの表示部に表示される。そして、全ての入力が完了し、「入力完了」スイッチをクリックすると、次の画面に切り替わる。

【0084】

図20は、「入力完了」スイッチをクリックした後に表示される広告文の入力画面を表わす図である。本図に示すように、小型広告を入力する場合は、16文字3列（和文）または32文字3列（英文）の文字入力が可能である。一方、大型広告を入力する場合は、20文字9列（和文）または40文字9列（英文）の入力が可能となっている。この点については、図12と同様である。

【0085】

なお、この画面では小型広告の場合が表示されている。そして入力が完了すると、「入力完了」スイッチがクリックされ、次の「支払確認画面」が表示される。

【0086】

図21は、入力完了後にクライアントコンピュータ300の画面に表示される支払確認画面を表わす図である。ここでも、最上部に広告掲載料金（たとえば1000円）が表示され、その下に、その金額をクレジットカードに請求してもよいか否かの最終確認のメッセージが表示される。

【0087】

広告主が、料金の請求に応じる意思表示として「了解」スイッチをクリックすると、終了画面に切換わる。そして、図14で示したように、広告主に対して「ありがとうございました。」等のメッセージが表示される。

【0088】

このようにして、入力された広告文は、ホストコンピュータ200のハードディスクドライブに一旦記憶される。そして記憶された広告文は、インターネット500を介して、指定されたフォトキオスク装置100に転送され、そのフォトキオスク装置内のハードディスクドライブ17に記憶される。

【0089】

なお、ホームページから広告登録を行なう場合であっても、前述した理由によりその広告内容が審査されるようにしてもよい。図22に、そのような場合の第2の支払確認画面の例を示す。ここでは、料金を示すとともに、「広告内容を審査の上、承認されましたら広告を掲載します。」という表示が行なわれ、運営者がその内容を審査することを広告主に知らせる。

【0090】

また、「承認されましたら、上記の料金がクレジットカードに請求されます。」という表示も行なわれ、審査を通過したときのみ、すなわち広告文が実際にプリントに掲載されるようになったときのみ、料金がカードにチャージされることも知らせる。そして、「了解」スイッチがクリックされると、広告主によって入力された全情報は、ホストコンピュータ200のハードディスク内に一旦記憶

される。

【0091】

実際の審査は、運営者がホストコンピュータ200のハードディスク内に記憶されている新規広告文を読出すことにより行なわれる。そして、審査を通過したものは、実際に掲載される広告文として希望のフォトキオスク装置100に転送され、そのハードディスクドライブ17に登録される。

【0092】

なお、審査の結果は、広告主の連絡先に電話で知らせるようにしてもよい。またインターネットメールで知らせてもよい。電話で知らせるときは、自動ダイヤル装置および音声合成装置等を用いて、コンピュータが自動的に電話するようにしてもよい。

【0093】

このようにして、フォトキオスク装置100を直接操作して、あるいはインターネット500を介して登録された広告情報は、ハードディスクドライブ17の所定の領域に記憶される。図23および図24に、フォトキオスク装置100のハードディスクドライブ17に登録された広告リストの例を示す。

【0094】

図23は、フォトキオスク装置100に登録された大型広告リストの例を示す図である。ここで登録された広告主が提供する広告は、図5の<広告1>エリアまたは<広告2>エリアにプリントされることになる。

【0095】

このリストには、広告番号、広告主、クレジット、広告希望対象者条件（性別、年代、職業、結婚）の項目がある。広告番号は、登録された広告のインデックスとなる番号であり、L1001から始まる番号が付される。クレジットとは、広告主の申込んだプリント枚数に対応する数字であり、プリント実行ごとに1ずつ減算されるものである。したがって、ここには残りの広告掲載回数が見られる。他の項目は、それぞれ、広告の登録時に広告主から入力された条件に対応するものである。

【0096】

図24は、フォトキオスク装置100に登録された小型広告リストの例を示す図である。ここで登録された広告主の提供した広告は、図5の〈広告3〉から〈広告5〉エリアのいずれかにプリントされることになる。

【0097】

このリストにも、図23で示した大型広告リストと同一の項目が設けられている。広告番号は、S1001から始まる番号が付されているが、その他の項目については、大型広告リストと同様である。

【0098】

続いて、ユーザが、デジタルカメラで撮影した画像をフォトキオスク装置100を用いてプリントする場合について説明する。

【0099】

まず、タッチパネルモニタ103には、図9に示す初期画面が表示される。ユーザは、この初期画面において「無料プリント」または「有料プリント」スイッチのいずれかをタッチする。

【0100】

ここで、「無料プリント」が選択されると、図25に示すユーザ情報入力画面が表示される。ユーザ情報としては、「性別」、「年代」、「職業」、および「結婚」に関する表示が行なわれる。これは、図11および図19において、広告主が入力した希望対象客の項目に対応するものである。

【0101】

このような、ユーザ情報入力を求めるのは、無料プリントのレイアウトを決定する際に広告主の広告希望対象者の情報が参照されるからである。すなわち、ユーザが入力したユーザ情報が参照され、そのユーザを対象にしている広告主がサーチされる。そして、その結果をもとにどの広告主の広告をプリントするかというプリントレイアウトが決定される。したがって、広告主の希望を最大限かなえることが可能となる。

【0102】

なお、広告主の希望を完全に満たすことが困難な場合もある。したがって、広告主の希望と異なる項目が所定数以内、たとえば2つ以内であるときは、そのユ

ーザにたして広告を掲載するようにしてもよい。

【0103】

個人情報の入力完了し、「完了」スイッチを触れると、図26に示す、カード等の挿入を促す画面に切り替わる。

【0104】

なお、初期画面において「有料プリント」がタッチされた場合は、図25で示したユーザ情報入力画面は表示されずに、すぐにこの図26の画面が表示される。

【0105】

本図を参照して、ここでは、デジタルカメラで撮影した画像のファイルを記録する記録媒体（メモリカード、フロッピーディスク、CD-ROM等）をカードリーダー、フロッピーディスクドライブ、あるいはCD-ROMドライブに、挿入するようにユーザに促すメッセージが表示される。

【0106】

そのメッセージに従って記録媒体が挿入されると、図27に示す写真選択画面が表示される。図27に示すように、この画面には、記録媒体に記憶されているデジタル画像が、表示エリア内に一覧表示される。表示エリアの上部には、表示されている画像の中から1つの画像を選択するようメッセージが表示される。

【0107】

メッセージに従ってユーザが所望の画像の1つに触れると、図28または図29に示す確認画面が表示される。なお、これらの画面では、実際にプリントされるイメージが原寸大で表示される。

【0108】

図28は、無料プリントモードにおける確認画面を表わす図である。ユーザは、この表示されるイメージのプリントを希望する場合は、画面上の「プリント」スイッチをタッチする。なお、「キャンセル」スイッチを選択すると、図27の写真選択画面に戻る。

【0109】

図29は、有料プリントモードにおける確認画面を表わす図である。この場合

も、表示されたイメージのプリントを希望する場合には、「プリント」スイッチをタッチし、異なるイメージを希望する場合は、「キャンセル」をタッチする。そして、キャンセルが選択されると、図27の写真選択画面に戻る。

【0110】

図28で示した無料プリントモードの確認画面において、「プリント」スイッチが選択された場合は、図30に示すプリント中画面に切り替わり、プリント動作が開始される。プリント動作の進行に伴い、画面中に矢印が表示される。そして、プリントが完了すると「プリント完了しました」「ありがとうございました」等の表示が行なわれる。この画面が所定時間表示された後、再び、図9に示す初期画面に戻る。

【0111】

図29の有料プリントモードにおいて、「プリント」スイッチが押された場合は、図31に示すプリント枚数の入力画面が表示される。たとえば、2枚のプリントを希望する場合は、「2」のスイッチが選択される。「2」が選択されると、そのスイッチが反転表示されるとともに、「料金は200円です。現金またはクレジットカードを挿入して下さい。」とのメッセージが表示され、料金の投入が促される。

【0112】

料金の投入または有効なクレジットカードの挿入が確認されると、図30で示したプリント中画面に切り替わる。そして、プリント動作が開始される。その後は、無料プリントモードの場合と同様に、矢印が順に表示され、プリントが完了すると「プリント完了しました」「ありがとうございました」等の表示が行なわれる。そして、最後は、図9の初期画面に戻る。

【0113】

以上説明したプリント動作は、無料プリントに対する制限がない場合のものである。以下に、無料プリントが制限される場合の2つのプリント動作について説明する。

【0114】

まず、第1の場合は、広告主の数およびクレジット残高に応じて無料プリント

モードに制限が加えられるのものである。無料プリントモードにおけるプリントコストは、広告主によって支払われる。したがって、広告主によるプリントコストの支払いが可能な範囲を超えた場合は、無料プリントを禁止する必要がある。このため、ここでは、広告主の数およびクレジット残高に応じて、無料プリントの制限が行われる。

【 0 1 1 5 】

たとえば、クレジット残高が 1 以上の大型広告主が 2 者以上、かつクレジット残高が 1 以上の小型広告主が 3 者以上のとき、無料プリントが許可される。そして、それ以外のときは、無料プリントが禁止され、図 9 に示した初期画面に代わり、図 3 2 で示すような初期画面が表示される。図 3 2 に示すように、ここでは、「無料プリント」キーの下サンプル表示部分に、「現在ご利用できません」というメッセージが表示される。

【 0 1 1 6 】

このような表示を行なうことで、適切に無料プリントの利用を禁止することができる。したがって、広告主による広告料（プリントコスト）に応じた適切なサービスを提供することができ、フォトキオスク装置の円滑な運用を図ることが可能となる。

【 0 1 1 7 】

なお、広告主の数が所定の数に満たないとき、無料プリントモード自体を禁止するのではなく、広告エリアのいくつかに縮小写真画像をプリントする割安プリントを行なうようにすることもできる。

【 0 1 1 8 】

図 3 3 は、割安プリントを可能とした場合の初期画面の例を示す図である。たとえば、大型広告主が 1 者の場合、本図に示すように、「無料プリント」の代わりに、「割安プリント」キーの表示がなされる。そして、サンプルとして、従来の＜広告 2＞のエリアにも、縮小された写真画像がプリントされる。このときの料金は、たとえば 1 枚 5 0 円とする。また、たとえば、＜広告 2＞に加え、＜広告 5＞のエリアにも縮小画像をプリントする場合は 1 枚 6 0 円とする。

【 0 1 1 9 】

このように、プリントされる広告の数が多くなればなるほど料金が安くなるようにプリントコストが設定される。このような料金システムにすることにより、ユーザは、有料プリントを行なうよりは、低料金でプリントを行なうことが可能となる。したがって、完全に無料プリントを禁止した場合よりも、メリットがある。また、広告主にとっても、広告を登録したものの、全体として登録数が所定数になるまで、広告のプリントが行なわれないという場合よりも、メリットがある。

【0120】

第2の場合は、同一ユーザに対する無料プリントの制限を設けるものである。無料プリントモードでは、料金は無料であるから、悪戯によるプリントも考えられる。また1人のユーザが大量にプリントすることも考えられる。このようなプリントは、広告主の意図に合致しないものであるので、防止することが望まれる。したがって、以下に示すようにある程度の制限が設けられる。

【0121】

たとえば、同一写真のプリントを5枚に制限するとか、同一記録媒体からのプリントを5枚に制限するという制限が課される。

【0122】

ユーザが、無料プリントモードで、上記の制限を超えて無料プリントを選択した場合は、図34に示す無料プリント禁止画面が表示される。ここでは、本日の無料プリントができない旨が表示される。この無料プリント禁止画面は、図26のカード挿入等を促す画面の次に表示してもよく、また、図27の写真選択画面の次に表示されてもよい。

【0123】

なお、無料プリントの制限は、同一ユーザに対する無料プリント枚数をカウンタによってカウントアップすることで行なう。すなわち、カウンタの値が上限値、たとえば5に達したときに、次の無料プリントを制限するようにする。

【0124】

なお、ここでは、無料プリントの枚数を5枚に制限したが、広告主の数に応じて変更するようにしてもよい。たとえば、大型広告主、小型広告主ともに10者

以上、15者未満のときは10枚に制限し、大型広告主、小型広告主ともに15者以上の場合は無制限とするようにしてもよい。

【0125】

最後に、本実施の形態におけるフォトキオスク装置100の処理の流れについて、図35から図40を用いて説明する。

【0126】

図35は、フォトキオスク装置100の全体処理の流れを示したフローチャートである。本図を参照して、フォトキオスク装置100はまず、ステップS1において所定のタイミングで、ホストコンピュータ200と通信を行なう。通信内容は、たとえば、新規の広告文の追加であったり、新規の広告文の掲載の承認であったりする。

【0127】

次に、ステップS2において、リスト更新処理が行われる。すなわち、フォトキオスク装置100から直接入力された新規広告文、または、インターネット500を介してホストコンピュータ200から入力された新規広告文が、図23の大型広告リストまたは図24の小型広告リストに追加される。

【0128】

続いて、ステップS3において、無料プリントモードの設定処理が行われる。ここでは、ハードディスクドライブ17に登録されている広告情報から、無料プリントモードを許可するかどうかの決定が行われる。

【0129】

次に、ステップS4において、ディスプレイ制御処理が行われる。すなわち、フォトキオスク装置100のタッチパネルディスプレイ103の表示制御、および、画面切替制御が行なわれる。具体的には、操作者の選択処理、メモリカード等の挿入、料金の投入等に応じて、タッチパネルモニタ103の表示内容が切り替えられる。

【0130】

そして、ステップS5において、ユーザが無料プリントモードを選択したか否かが判断される。無料プリントモードが選択された場合は、ステップS6におい

て、無料プリントレイアウト処理が行われる。そして、同一プリント用紙に出力する写真画像と広告画像の具体的なレイアウトが決定される。

【0131】

レイアウトが決定されると、ステップS7において、プリント処理が行われる。すなわち、無料プリントモードのときは決定されたレイアウトに従ってプリント用紙上にデジタルカメラ画像および広告文がプリントされる。

【0132】

一方、ステップS5において、無料プリントモードが選択されなかった場合、すなわち有料プリントモードが選択された場合は、ステップS6をスキップして、ステップS7のプリント処理が行われる。この場合は、デジタルカメラ画像のみがプリント用紙上にプリントされる。

【0133】

プリント処理が終了すると、再びステップS1の通信処理に戻る。そして、上記処理が繰り返される。以上が、フォトキオスク装置100の全体処理の流れである。

【0134】

次に、各処理について、詳細に説明する。

図36は、図35のリスト更新（ステップS2）の詳細な処理の流れを示すフローチャートである。本図を参照して、まず、ステップS201において、広告文の新規登録があったか否かが判断される。すなわち、新規広告文がフォトキオスク装置100から直接入力されたかどうか、またはインターネット500を介して入力されたかが判断される。

【0135】

いずれかの入力により、新規広告文の登録があった場合は、ステップS202において、その新規広告が大型広告であるか小型広告であるかが判断される。大型広告の場合は、ステップS203の処理へと進み、図23に示した大型広告リストにその情報が追加され、リストの更新が行われる。一方、小型広告の場合は、ステップS204の処理へと進み、図24に示した小型広告リストに新規の小型広告が追加され、リストの更新が行われる。

【0136】

このように、大型広告リストの更新または小型広告リストの更新が行われると、サブルーチンを終了し、図35へのメインルーチンへと戻る。

【0137】

なお、ステップS201において、新規広告の登録がないと判断された場合は、ステップS202からステップS204の処理は行わず、サブルーチンを終了する。

【0138】

図37は、図35の無料プリントモード設定（ステップS3）の詳細な処理の流れを示すフローチャートである。本図を参照して、まず、ステップS301において、ハードディスクドライブ17に登録されている大型広告リストのサーチが行われる。

【0139】

そして、ステップS302において、サーチ結果から大型広告リストの中に、クレジットが1以上の大型広告主が2者以上存在するか否かが判断される。そして、そのような大型広告主が2者以上存在しないと判断された場合は、ステップS306の処理へと進み、無料プリントが禁止される。

【0140】

一方、ステップS302において、そのような大型広告主が2者以上いると判断された場合は、ステップS303の処理へと進み、小型広告主のサーチが行われる。すなわち、ハードディスクドライブ17に登録されている小型広告リストのサーチが行なわれる。

【0141】

その結果、ステップS304において、クレジットが1以上の小型広告主が3者以上存在するか否かがチェックされる。そのような小型広告主が3者以上存在しない場合は、ステップS306の処理へと進み、無料プリントが禁止される。

【0142】

反対に、そのような小型広告主が3者以上存在する場合は、ステップS305の処理へと進み、無料プリントが許可される。

【0143】

このように、ステップS305における無料プリントの許可、またはステップS306における無料プリントの禁止が行なわれた後は、サブルーチンを終了して、図35のメインルーチンへと戻る。

【0144】

以上の処理によると、クレジットが1以上の大型広告主が2者以上存在し、かつ、クレジットが1以上の小型広告主が3者以上存在する場合にのみ、無料プリントモードが許可される。そして、それ以外は、無料プリントモードによる無料プリントが禁止される。

【0145】

このため、無料プリントモードにおけるプリントコストが広告主により支払い可能な範囲においてのみ無料プリントが許可され、適切なプリントサービスが提供されることになる。

【0146】

なお、大型広告主および小型広告主の数が規定の数に達しないときでも、無料ではないが、通常の有料プリントよりも安い割引プリントを設定することもできる。

【0147】

図38は、図35の無料プリントレイアウト（ステップS6）の詳細な処理の流れを示すフローチャートである。本図を参照して、無料プリントレイアウト処理では、まず、ステップS601において、プリント用紙に掲載する大型広告が決定される。続いて、ステップS602において同じ用紙にプリントされる小型広告が決定される。

【0148】

たとえば、大型広告リスト登録される大型広告がL1001からL1006までの6つであり、小型広告リストに登録される小型広告がS1001からS1006までの6つである場合を考える。

【0149】

図39は、登録された広告の組合せ例を示す図である。本図に示すように、大

型の広告エリアである<広告1>エリアおよび<広告2>エリアには、大型広告であるL1001からL1006が順に組み合わせられ、小型広告エリアである<広告3>エリアから<広告5>エリアには、小型広告であるS1001からS1006までの広告が順に組み合わせられる。

【0150】

そして、この広告の組み合わせは、1プリントごとに変更される。たとえば、本図に示す組合せに従い、その日の第1枚目の無料プリントには、L1001、L1002、S1001、S1002、S1003の広告が掲載され、第2枚目のプリントには、L1002、L1003、S1002、S1003、S1004、等のように組合せが変更される。

【0151】

なお、この組合せは、上記の例に限定されるものではなく、乱数を発生させて組合せを決定するようにしてもよい。

【0152】

このようにして、大型広告および小型広告として、各広告エリアにどの広告を用いるかが決定されると、ステップS603において、各広告内容に対応して登録されている広告文がハードディスクドライブ17から読出され、レイアウトが完了される。

【0153】

このようにして無料プリントレイアウトの処理が終了すると、次のステップであるプリント処理（ステップS7）へと移行する。

【0154】

図40は、図35のプリント処理（ステップS7）の詳細な処理の流れを示すフローチャートである。本図を参照して、まず、ステップS700において、ユーザによりプリントスイッチがタッチされたか否かが判断される。

【0155】

プリントスイッチがタッチされていない場合は、以下の処理を行わずにサブルーチンを終了する。一方、プリントスイッチがタッチされた場合は、ステップS701において、そのプリントスイッチが、「無料プリント」スイッチである

か「有料プリント」スイッチであるかが判断される。

【0156】

「無料プリント」スイッチであると判断された場合は、ステップS702の処理へと進み、「無料プリント」スイッチでないと判断された場合、すなわち「有料プリント」スイッチであると判断された場合は、ステップS706の処理へと進む。

【0157】

ステップS702では、同一記録媒体からのプリント枚数を計測するカウンタCfの値が限度内かどうか判断される。そして、カウンタCfの値が限度内であれば、ステップS703において、無料プリントが実行される。その後、ステップS704において、カウンタCfの値がカウントアップされる。

【0158】

なお、このカウンタCfの値は、たとえば、その記録媒体がフォトキオスク装置100から取外されたときにリセットされるようになっている。カウンタのリセットは、プリントされてから所定時間後、たとえば12時間後に実行するようにしてもよい。

【0159】

ステップS702において、カウンタCfの値が限度を超えていると判断された場合は、ステップS705の処理へと進み、無料プリントが禁止される。

【0160】

このように、無料プリントモードにおける同一ユーザのプリント枚数を制限することにより、効果的な広告を意図して登録を行なった広告主の意図を反映することができる。

【0161】

なお、具体的には、同一写真のプリントを5枚に制限するとか、同一記憶媒体からのプリントに制限するというような制限がとられる。写真が同一か否か、または記録媒体が同一か否かを見極める手段としては、たとえば、写真画像とともに記憶された日付情報、カメラ情報等の情報が利用される。

【0162】

ステップ S 7 0 6 では、ユーザに対して、有料プリントモードによるプリントを行なうための現金またはクレジットカードの支払要求が行なわれる。そして、投入された現金または、クレジットカードのチェックが行われ、所定の料金が支払われたことが確認される。その後、ステップ S 7 0 7 において、希望枚数の有料プリントが実行される。

【 0 1 6 3 】

プリント処理が終了すると、図 3 5 のメインルーチンに戻り、再び前述した処理（ステップ S 1 ～ステップ S 7 ）が繰り返される。

【 0 1 6 4 】

以上説明したように、本実施の形態におけるフォトキオスク装置 1 0 0 によると、デジタルカメラにより撮影された画像を高画質でプリントする際、無料プリントモードを利用することにより、コスト的な問題が解消され、無料あるいは低料金でプリント画像を得ることができる。

【 0 1 6 5 】

一方、広告主にとっては、広告対象を絞った効率のよい宣伝広告を、低料金で行なうことができる。

【 0 1 6 6 】

また、無料プリントに対してある程度の制限を設けることにより、適切なプリントサービスが行なわれ、フォトキオスク装置 1 0 0 の円滑な活用を図ることが可能となる。

【 0 1 6 7 】

なお、このようなシステムは、フォトキオスク装置 1 0 0 のみならず、たとえば複写機等に応用してもよい。複写機に応用する場合、たとえば、原稿像は表の前面にプリントし、裏面に広告文をプリントするようにされる。また、原稿像を 9 0 % 縮小プリントし、その周辺に広告文をプリントするようにしてもよい。

【 0 1 6 8 】

なお、本実施の形態においては、記録媒体に記録された画像をプリントする場合を示したが、それに限定されるものではなく、たとえば、フォトキオスク装置 1 0 0 にビデオカメラを設置し、その出力をプリントすることもできる。これに

より、証明写真、記念写真等を無料でプリントすることができる。

【0169】

さらに、本実施の形態では、広告文は写真画像とともにプリント用紙にプリントされる例を示したが、フォトキオスク装置100を使用していないときには、ディスプレイ（タッチパネルモニタ103）上に表示するようにしてもよい。

【0170】

また、本実施の形態におけるフォトキオスク装置100は、ネットワーク500に接続されている場合を示したが、スタンドアローンでも使用可能である。

【0171】

なお、フォトキオスク装置100で用いられるプリント用紙は、通常の写真用紙のみならず、シールからなる写真用紙であってもよい。

【0172】

今回開示された実施の形態はすべての点で例示であって制限的なものではないと考えられるべきである。本発明の範囲は上記した説明ではなくて特許請求の範囲によって示され、特許請求の範囲と均等の意味および範囲内でのすべての変更が含まれることが意図される。

【図面の簡単な説明】

【図1】 本発明の実施の形態におけるフォトキオスク装置100がインターネットに接続された場合のネットワーク構成を示す図である。

【図2】 本実施の形態におけるフォトキオスク装置100の全体構成を説明するための図である。

【図3】 図2のコンピュータ101をより詳細に示したフォトキオスク装置100の機能ブロック図である。

【図4】 無料プリントモードにおける第1のレイアウト例を示す図である。

【図5】 無料プリントモードにおける第2のレイアウト例を示す図である。

【図6】 有料プリントモードにおけるレイアウト例を示す図である。

【図7】 有料プリントモードにおける通常プリントを行なった際のプリン

ト例を示す図である。

【図 8】 有料プリントモードにおけるインデックスプリントの一例を示す図である。

【図 9】 フォトキオスク装置 1 0 0 のタッチパネルモニタ 1 0 3 上に表示される初期画面を示す図である。

【図 1 0】 タッチパネルモニタ 1 0 3 上に表示されるクレジットカードの挿入を促す画面を示す図である。

【図 1 1】 タッチパネルモニタ 1 0 3 上に表示される広告に関する希望事項の入力画面を表わす図である。

【図 1 2】 タッチパネルモニタ 1 0 3 上に表示されるキー入力画面を表わす図である。

【図 1 3】 タッチパネルモニタ 1 0 3 上に表示される支払確認画面を表わす図である。

【図 1 4】 タッチパネルモニタ 1 0 3 上に表示される終了画面を表わす図である。

【図 1 5】 タッチパネルモニタ 1 0 3 上に表示される第 2 の支払確認画面を表わす図である。

【図 1 6】 タッチパネルモニタ 1 0 3 上に表示されるスキャナ入力画面を表わす図である。

【図 1 7】 クライアントコンピュータ 3 0 0 の画面に表示される初期画面を表わす図である。

【図 1 8】 クライアントコンピュータ 3 0 0 の画面に表示されるクレジットカード情報の入力画面を表わす図である。

【図 1 9】 クライアントコンピュータ 3 0 0 の画面に表示される広告に関する希望事項の入力画面を表わす図である。

【図 2 0】 クライアントコンピュータ 3 0 0 の画面に表示される広告文の入力画面を表わす図である。

【図 2 1】 クライアントコンピュータ 3 0 0 の画面に表示される支払確認画面を表わす図である。

【図 2 2】 クライアントコンピュータ 3 0 0 の画面に表示される第 2 の支払確認画面を表わす図である。

【図 2 3】 フォトキオスク装置 1 0 0 に登録された大型広告リストの例を示す図である。

【図 2 4】 フォトキオスク装置 1 0 0 に登録された小型広告リストの例を示す図である。

【図 2 5】 クライアントコンピュータ 3 0 0 の画面に表示されるユーザ情報入力画面を表わす図である。

【図 2 6】 タッチパネルモニタ 1 0 3 上に表示されるカード等の挿入画面を表わす図である。

【図 2 7】 タッチパネルモニタ 1 0 3 上に表示される写真選択画面を表わす図である。

【図 2 8】 タッチパネルモニタ 1 0 3 上に表示される無料プリントモードにおける確認画面を表わす図である。

【図 2 9】 タッチパネルモニタ 1 0 3 上に表示される有料プリントモードにおける確認画面を表わす図である。

【図 3 0】 タッチパネルモニタ 1 0 3 上に表示されるプリント中画面を表わす図である。

【図 3 1】 タッチパネルモニタ 1 0 3 上に表示されるプリント枚数の入力画面を表わす図である。

【図 3 2】 タッチパネルモニタ 1 0 3 上に表示される無料プリントモードの使用不可の初期画面を表わす図である。

【図 3 3】 タッチパネルモニタ 1 0 3 上に表示される料金変更された初期画面を表わす図である。

【図 3 4】 タッチパネルモニタ 1 0 3 上に表示される無料プリントモードにおける無料プリント禁止画面を表わす図である。

【図 3 5】 フォトキオスク装置 1 0 0 の全体処理の流れを示したフローチャートである。

【図 3 6】 図 3 5 のリスト更新（ステップ S 2）の詳細な処理の流れを示

したフローチャートである。

【図 37】 図 35 の無料プリントモード設定（ステップ S3）の詳細な処理の流れを示したフローチャートである。

【図 38】 図 35 の無料プリントレイアウト（ステップ S6）の詳細な処理の流れを示したフローチャートである。

【図 39】 登録された広告の組み合わせ例を示す図である。

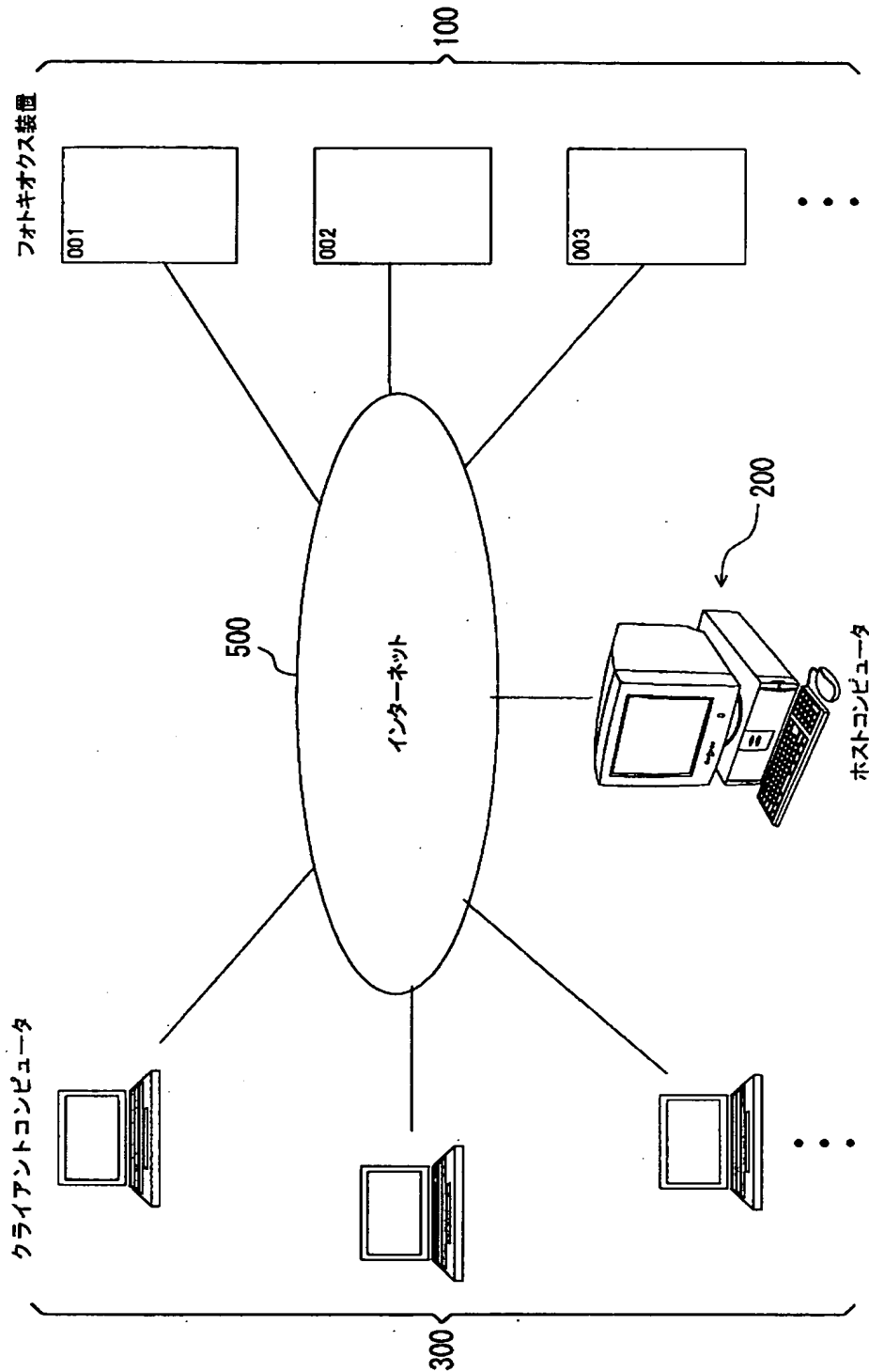
【図 40】 図 35 のプリント処理（ステップ S7）の詳細な処理の流れを示したフローチャートである。

【符号の説明】

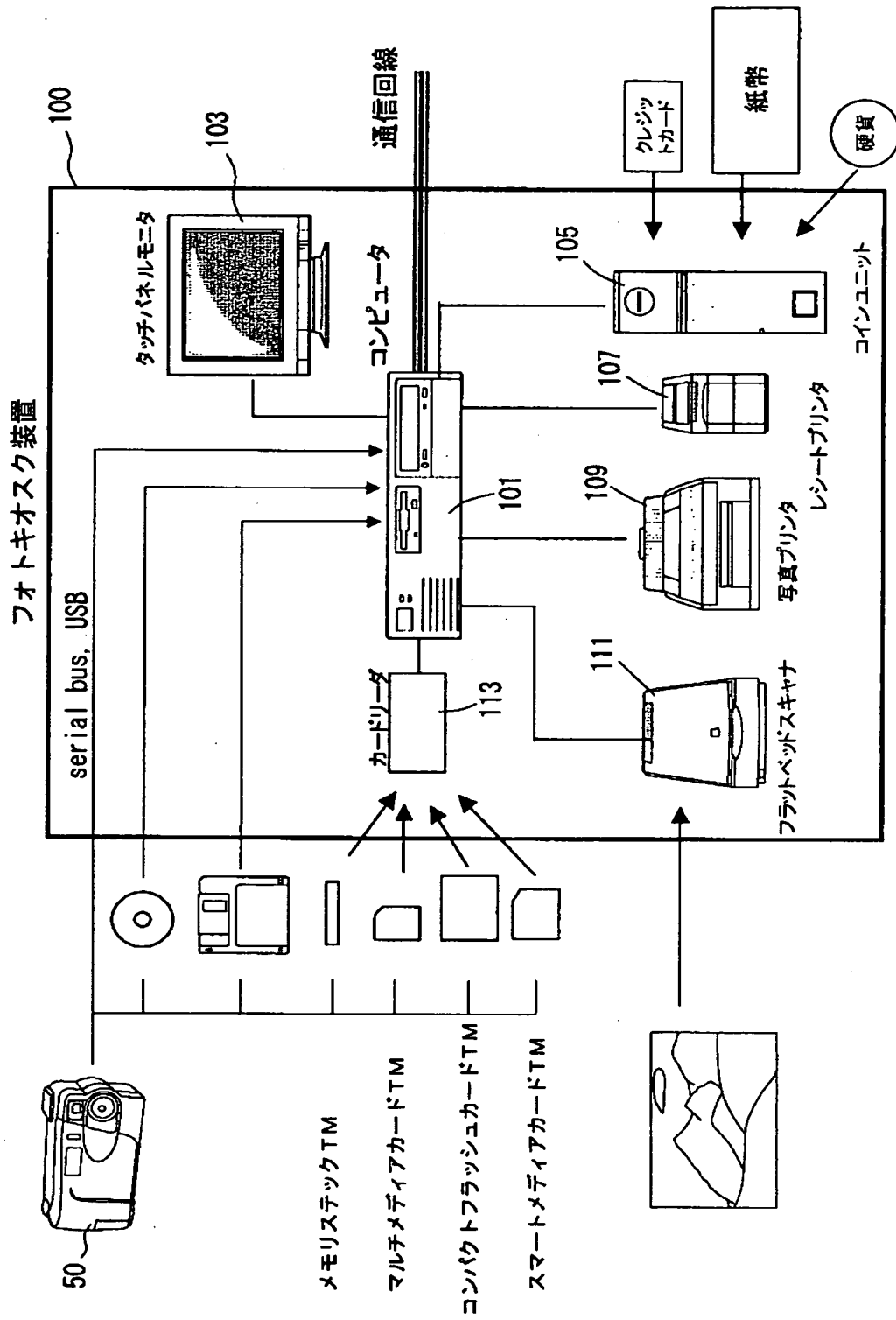
11 制御装置、13 CD-ROMドライブ、15 FDドライブ、17 ハードディスクドライブ、50 デジタルカメラ、100 フォトキオスク装置、101 コンピュータ、103 タッチパネルモニタ、105 コインユニット、107 レシートプリンタ、109 写真プリンタ、111 フラットベッドスキャナ、113 カードリーダー、200 ホストコンピュータ、300 クライアントコンピュータ、500 インターネット。

【書類名】 図面

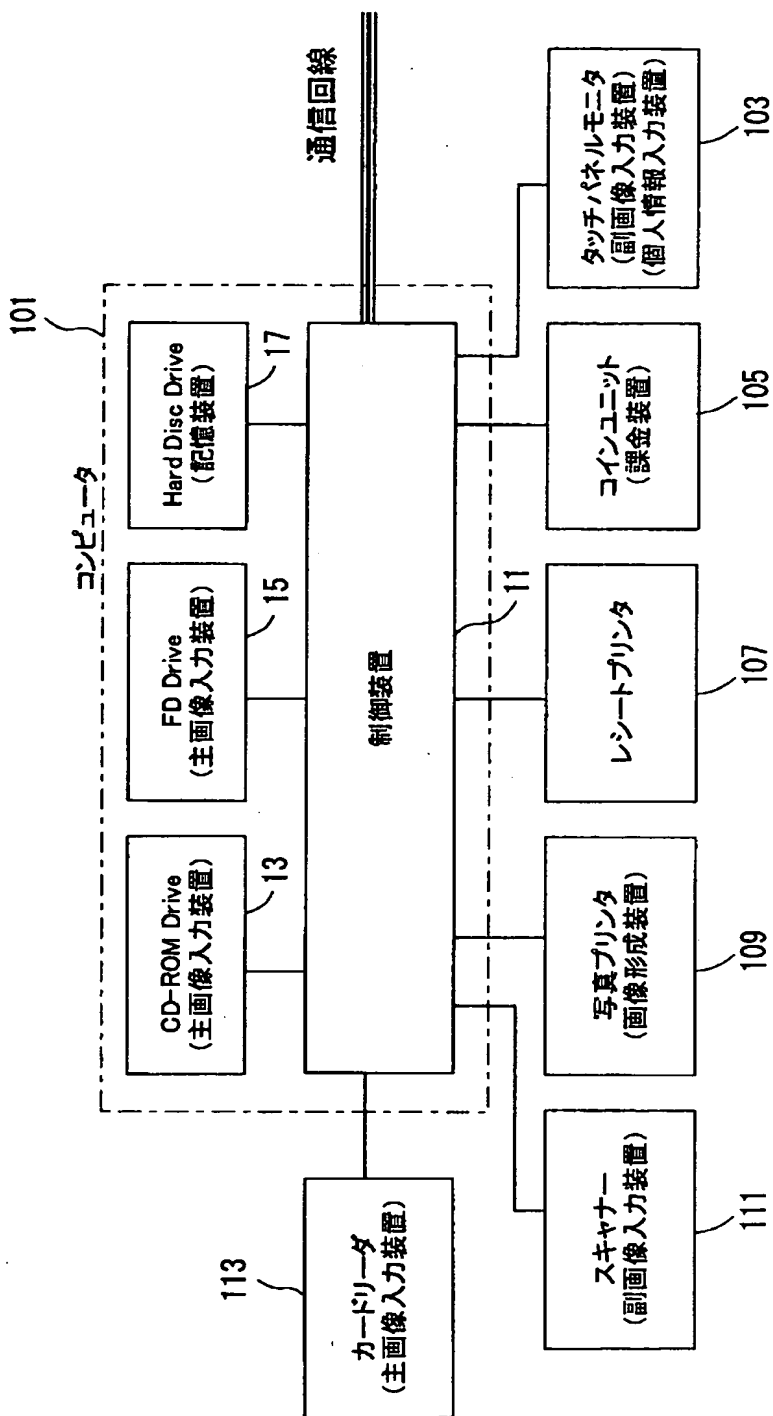
【図 1】



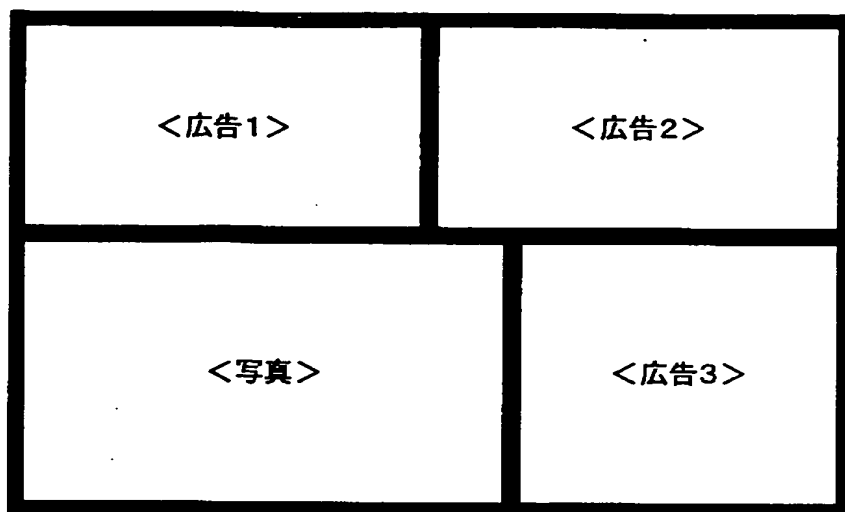
【図 2】



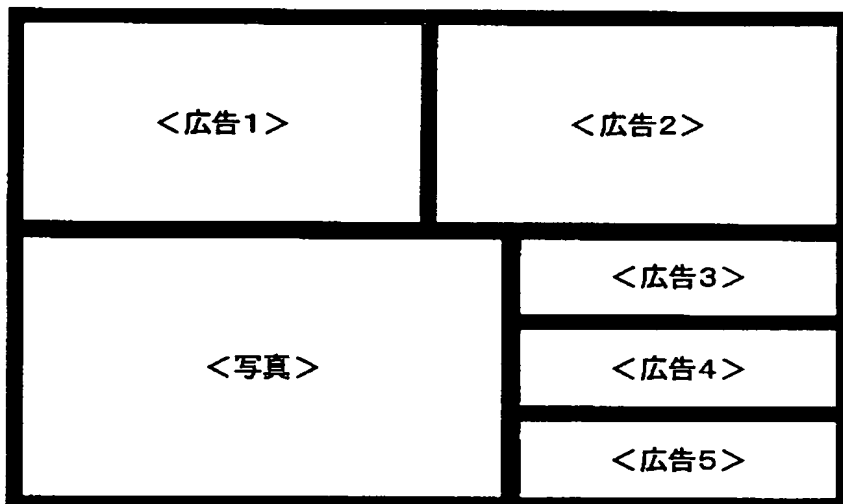
【図 3】



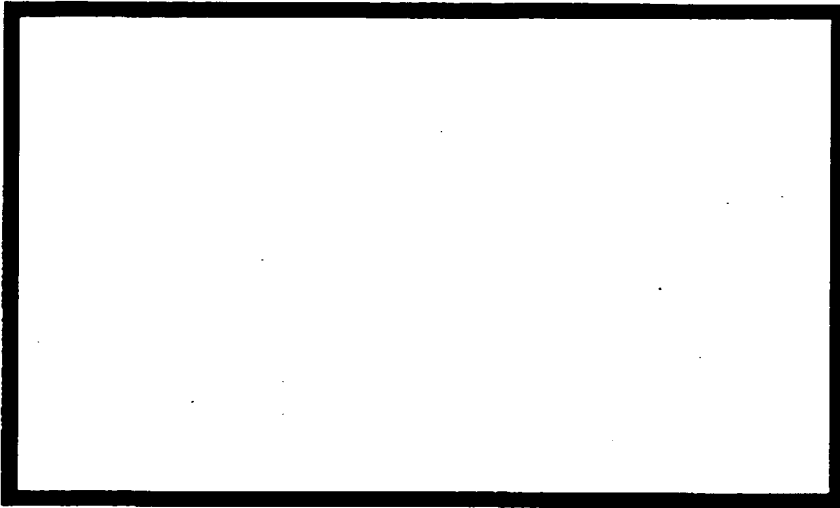
【図 4】



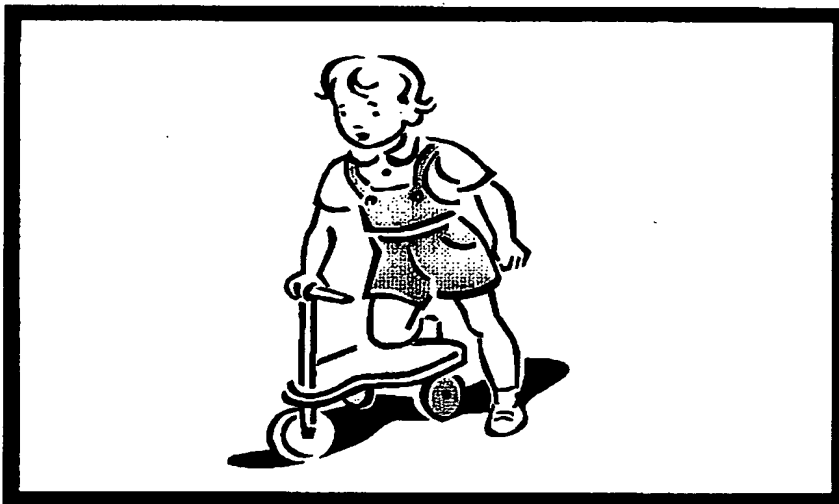
【図 5】



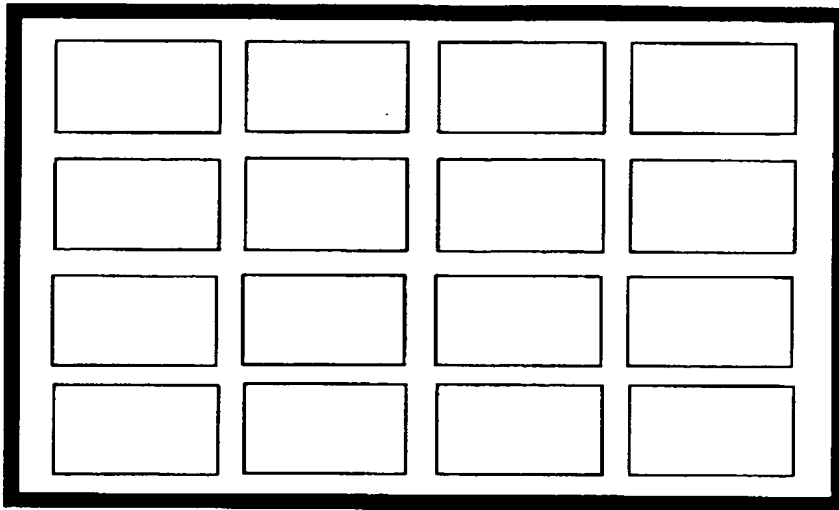
【図 6】



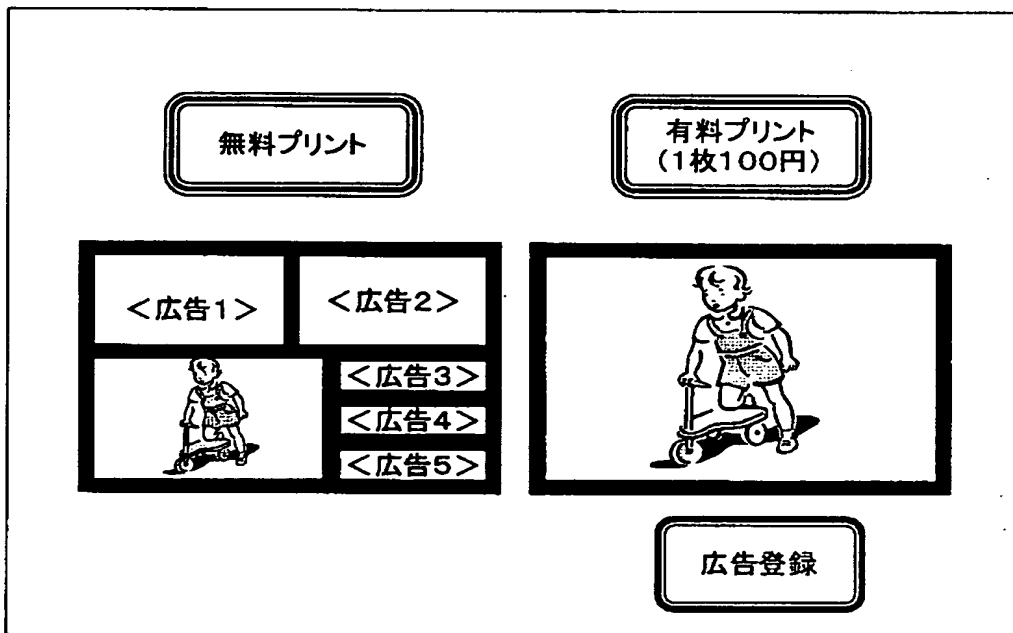
【図 7】



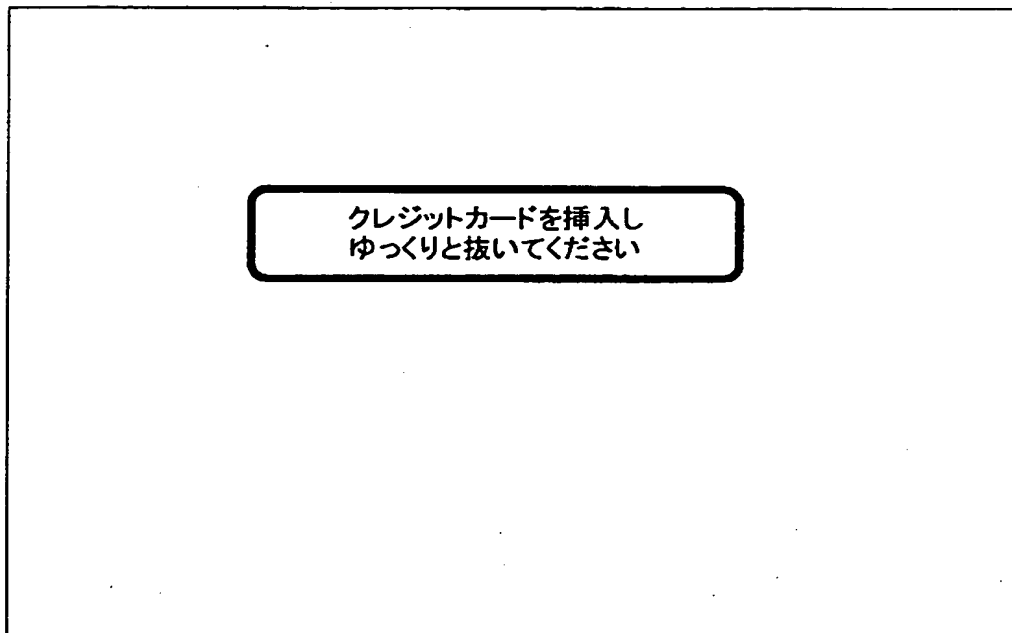
【図 8】



【図 9】



【図 10】



【図 1 1】

広告申込ありがとうございます。広告に関する希望事項を入力してください。

広告の大きさ 大型 小型

プリント枚数 100枚 200枚 300枚 400枚 500枚 1000枚

1000円 2000円 3000円 4000円 5000円 10000円

性別 全 男 女

年代 全 10~ 20~ 30~ 40~ 50~ 60~

職業 全 学生 会社員 公務員 自由業 農業 無職

結婚 全 未婚 結婚

連絡先電話番号

テンキーで入力してください

電話番号表示部

7	8	9
4	5	6
1	2	3
0	クリア	

広告入力方法 スキヤナ入力 キー入力

入力は完了しましたか? 入力完了 操作中断

【図 12】

広告文をキーボードより入力してください

表示部

子	犬	、	譲	り	ま	す	。										
			生	後	2	ヶ	月		オ	ス	。						
0	4	4	-	X	X	X	X	-	X	X	X	X	X	X	X		山田

キーボード

あ	か	さ	た	な	は	ま	や	ら	わ	ん	@	。
い	き	し	ち	に	ひ	み					(、
う	け	す	つ	ぬ	ふ	む	ゆ	る)	:
え	せ	そ	と	ね	へ	め	れ				「	¥
お	こ	そ	と	の	ほ	も	よ	ろ	を		」	#

変換

↑	↓	→	←
---	---	---	---

7	8	9
4	5	6
1	2	3
0	.	

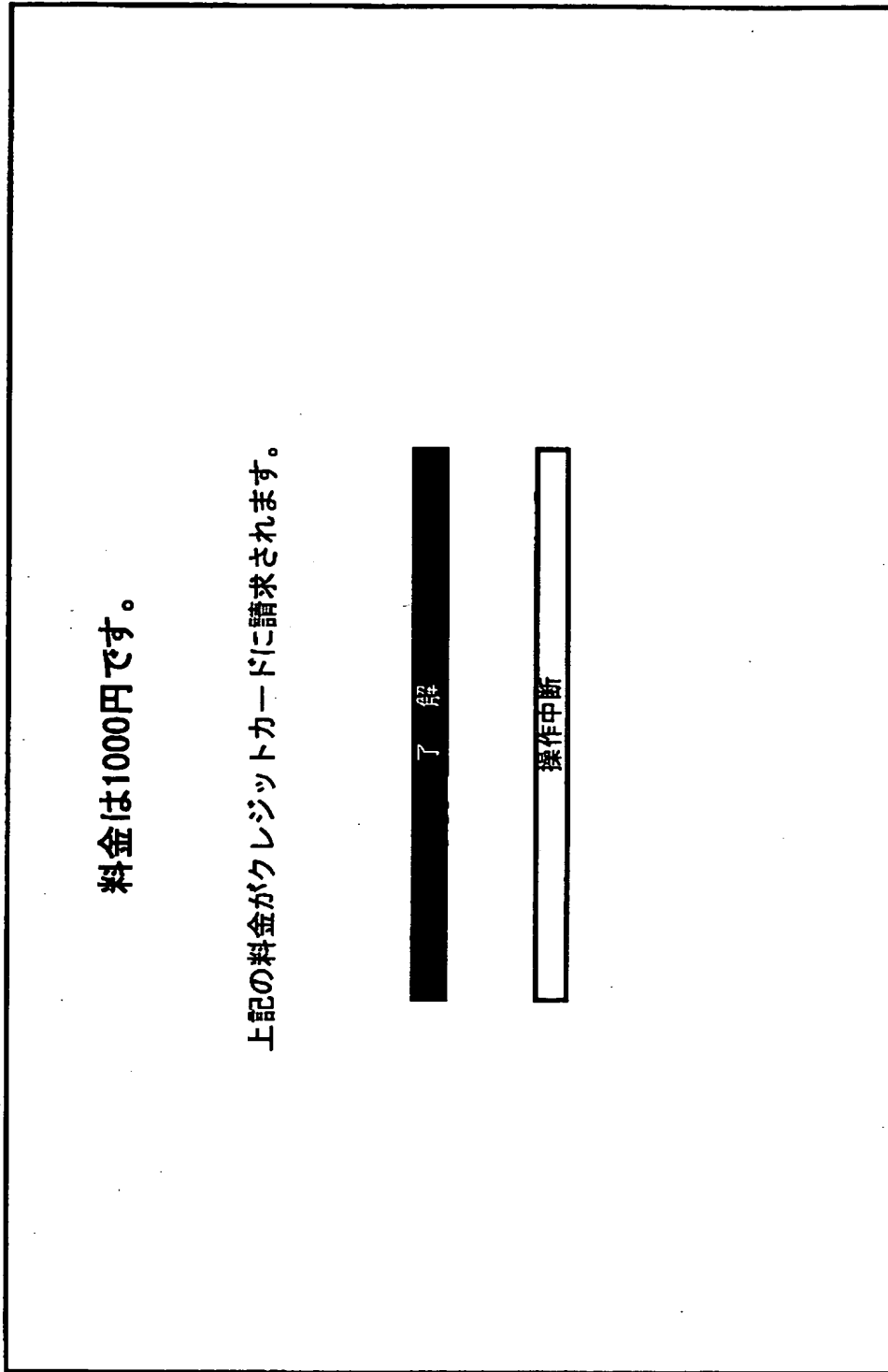
英/和

入力完了しましたか？

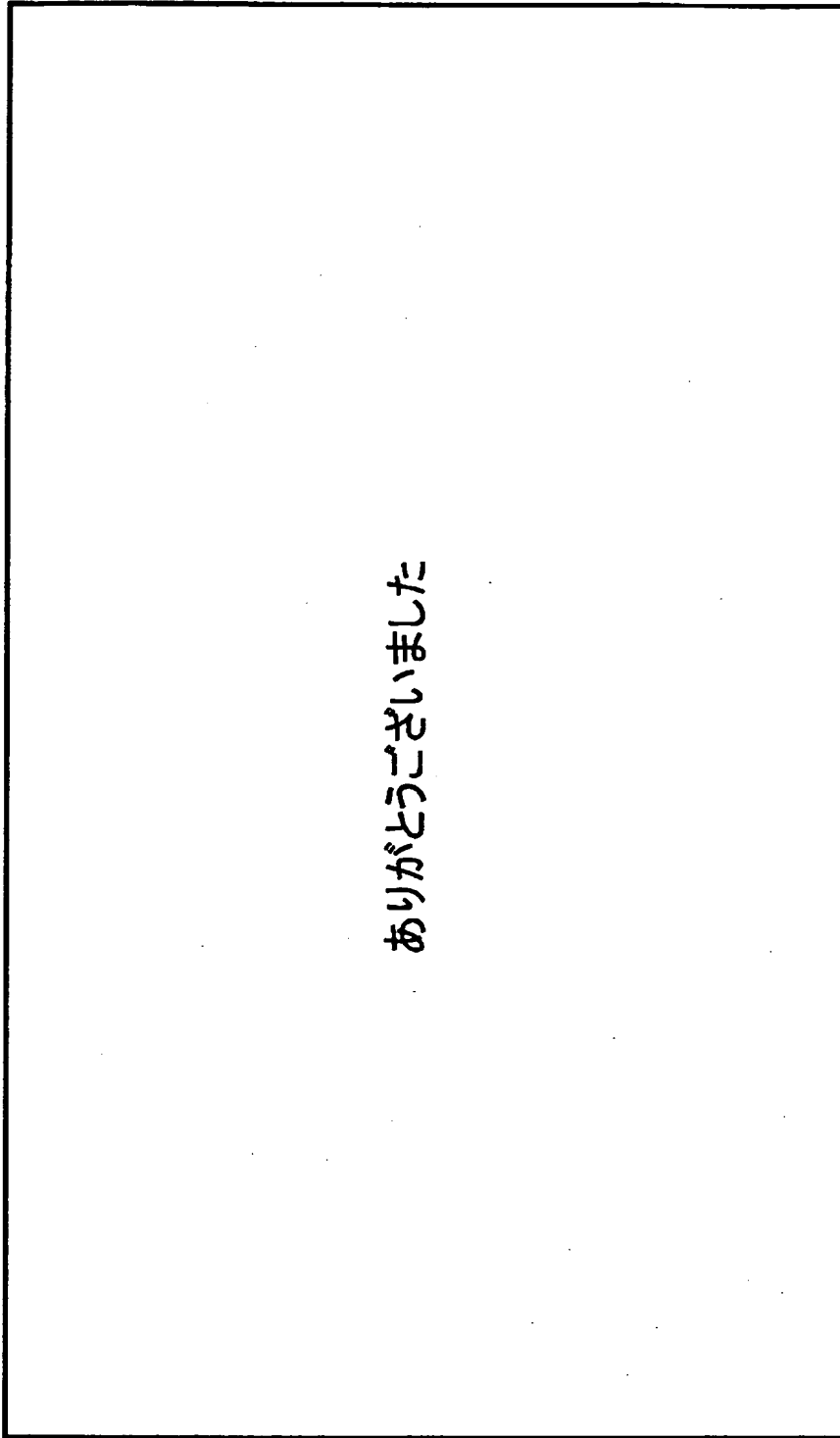
入力完了

操作中断

【図 1 3】



【図 1 4】



【図 15】

料金は1000円です。

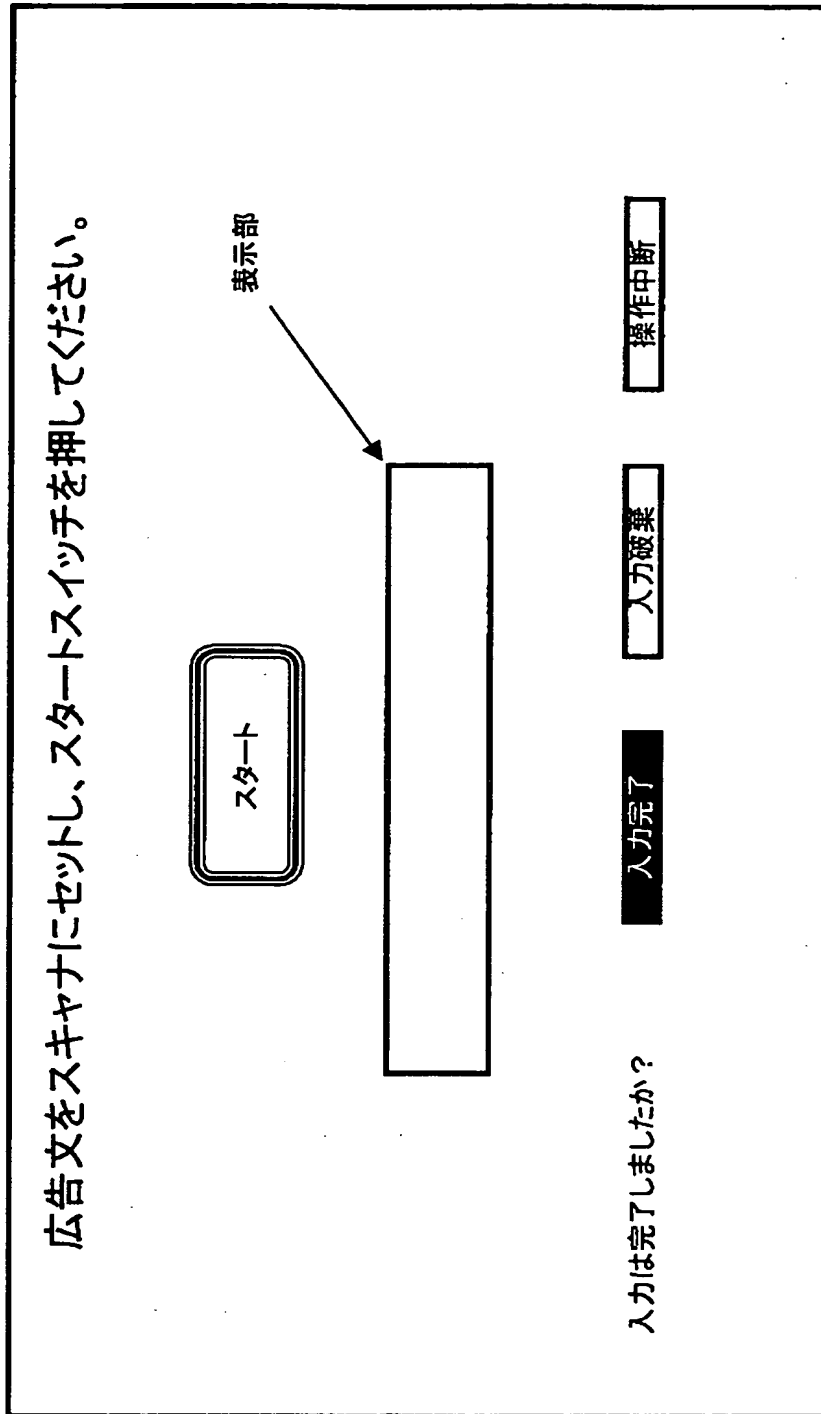
広告内容を審査の上、承認されましたら広告を掲載します。

承認されましたら、上記の料金がクレジットカードに請求されます。

了 解


操作中断


【図 16】



【図17】

ようこそフォトキオスクへ

<広告1>	<広告2>
	<広告3>



広告登録

【図18】

広告掲載希望の方は
クレジットカード番号および有効期限
を入力してください

番号

有効期限

確認

キャンセル

【図19】

広告申込ありがとうございます。広告に関する希望事項を入力してください。

広告の大きさ	<input type="checkbox"/> 大型	<input checked="" type="checkbox"/> 小型
プリント枚数	<input checked="" type="checkbox"/> 100枚 1000円	<input type="checkbox"/> 200枚 2000円
	<input type="checkbox"/> 300枚 3000円	<input type="checkbox"/> 400枚 4000円
	<input type="checkbox"/> 500枚 5000円	<input type="checkbox"/> 1000枚 10000円

性別	<input checked="" type="checkbox"/> 全	<input type="checkbox"/> 男	<input type="checkbox"/> 女
年代	<input checked="" type="checkbox"/> 全	<input type="checkbox"/> 10~	<input type="checkbox"/> 20~
職業	<input checked="" type="checkbox"/> 全	<input type="checkbox"/> 学生	<input type="checkbox"/> 会社員
結婚	<input checked="" type="checkbox"/> 全	<input type="checkbox"/> 未婚	<input type="checkbox"/> 結婚

希望対象客	<input type="checkbox"/> 60~	<input type="checkbox"/> 50~	<input type="checkbox"/> 40~	<input type="checkbox"/> 30~	<input type="checkbox"/> 20~	<input type="checkbox"/> 10~	<input type="checkbox"/> 5~
	<input type="checkbox"/> 無職	<input type="checkbox"/> 農業	<input type="checkbox"/> 自由業	<input type="checkbox"/> 公務員	<input type="checkbox"/> 会社員	<input type="checkbox"/> 学生	<input type="checkbox"/> 主婦

広告希望フォトキオスク	<input checked="" type="checkbox"/> 全	<input type="checkbox"/> 001	<input type="checkbox"/> 002	<input type="checkbox"/> 003	<input type="checkbox"/> 004	<input type="checkbox"/> 005
	XX大学	青空ジョビング	XX駅前	XX公会堂	YY駅前	ZZ大学

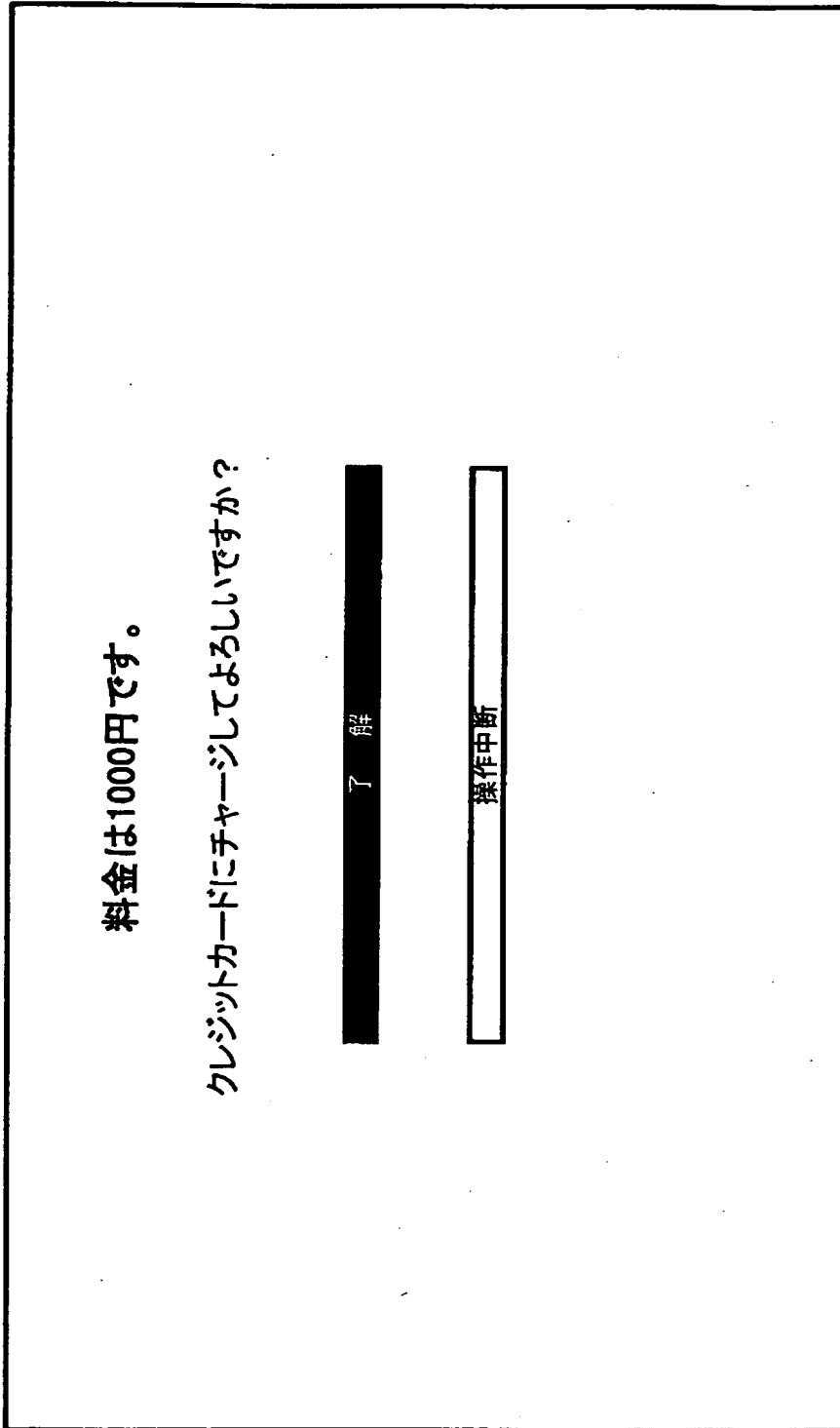
連絡先電話番号	<input type="text"/>
メールアドレス	<input type="text"/>

入力は完了しましたか？	<input checked="" type="checkbox"/> 入力完了	<input type="checkbox"/> 操作中断
-------------	--	-------------------------------

【図 20】

[illegible]

【図 2 1】



【図 22】

料金は1000円です。

広告内容を審査の上、承認されましたら広告を掲載します。

承認されましたら、上記の料金がクレジットカードに請求されます。

了 解

操作中断

【図23】

広告番号	広告主	クレジット	性別	年代	職業	結婚
L1001	ざくらトラベル	1000	全	全	全	全
L1002	家庭教師派遣	1000	全	全	全	全
L1003	スーパー百合丘	1000	全	全	全	全
L1004	青空自動車教習所	500	全	全	全	全
L1005	木村写真店	500	全	全	全	全
L1006	貸しレコード	1000	全	全	全	全
.
.
.

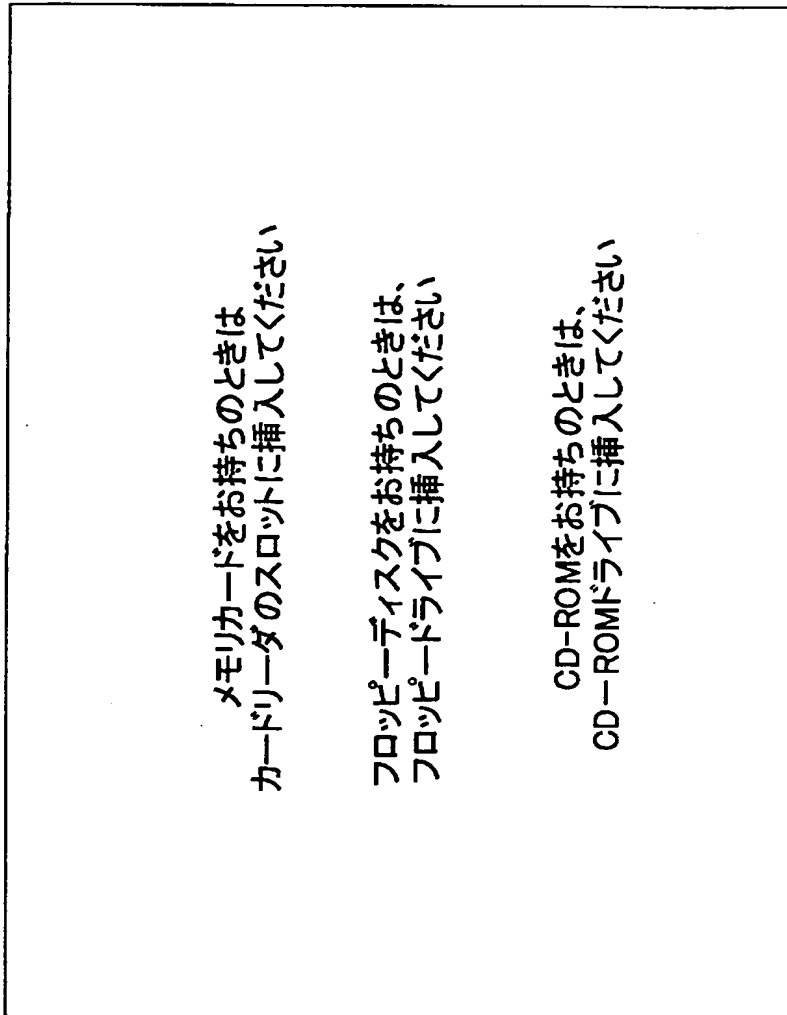
【図24】

広告番号	広告主	クレジット	性別	年代	職業	結婚
S1001	山田産婦人科	500	女	全	全	全
S1002	貸し農園	100	全	30~	全	全
S1003	テニスクール	100	全	全	全	全
S1004	子犬譲ります	100	全	全	全	全
S1005	コンビニエンスストア	500	全	全	全	全
S1006	生花店	500	全	全	全	全
.
.
.

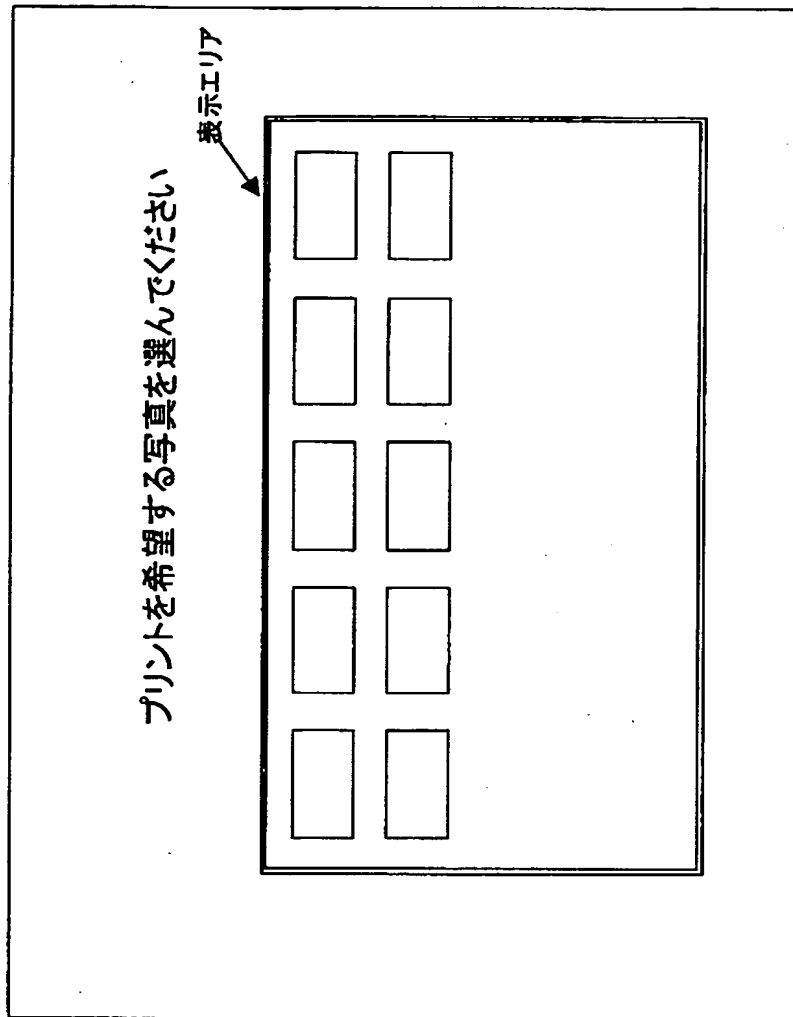
【図25】

性別	<input type="checkbox"/> 男	<input type="checkbox"/> 女				
年代	<input type="checkbox"/> 10～	<input type="checkbox"/> 20～	<input type="checkbox"/> 30～	<input type="checkbox"/> 40～	<input type="checkbox"/> 50～	<input type="checkbox"/> 60～
職業	<input type="checkbox"/> 学生	<input type="checkbox"/> 会社員	<input type="checkbox"/> 公務員	<input type="checkbox"/> 自由業	<input type="checkbox"/> 農業	<input type="checkbox"/> 無職
結婚	<input type="checkbox"/> 未婚	<input type="checkbox"/> 結婚				
入力は完了しましたか？						
			<input type="button" value="完了"/>	<input type="button" value="キャンセル"/>		

【図 2 6】



【図 27】



【図 28】



家庭教師派遣
対象：小、中、高
ABC高校合格者5人
ABC大学合格者7人
まずはお電話0120-YYYYY



フリーダイヤル
0120-XXXXXXX

旅行のことならさくらトラベル

子犬、譲ります
生後2ヶ月 オス
044-XXX-XXXX 山田

テニスサークル
メンバー募集中
044-YYY-YYYY 鈴木

貸し農園あります
3000円/月より
044-ZZZ-ZZZZ 田中

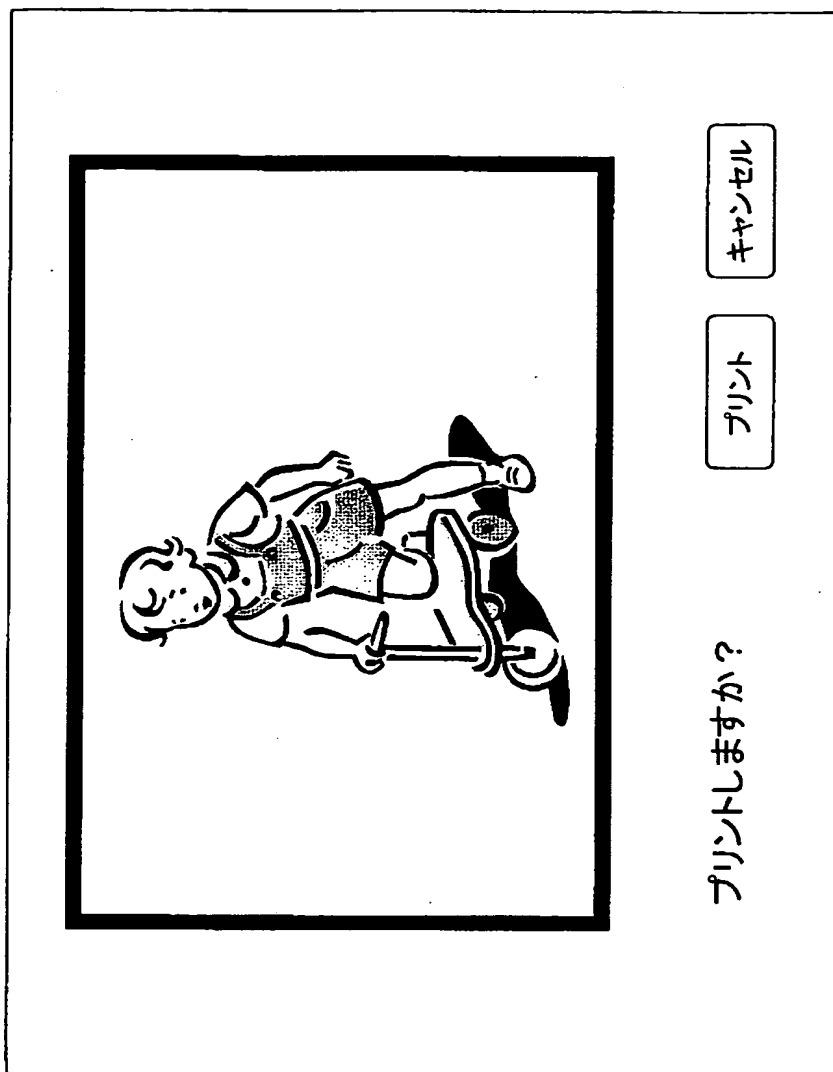


プリント

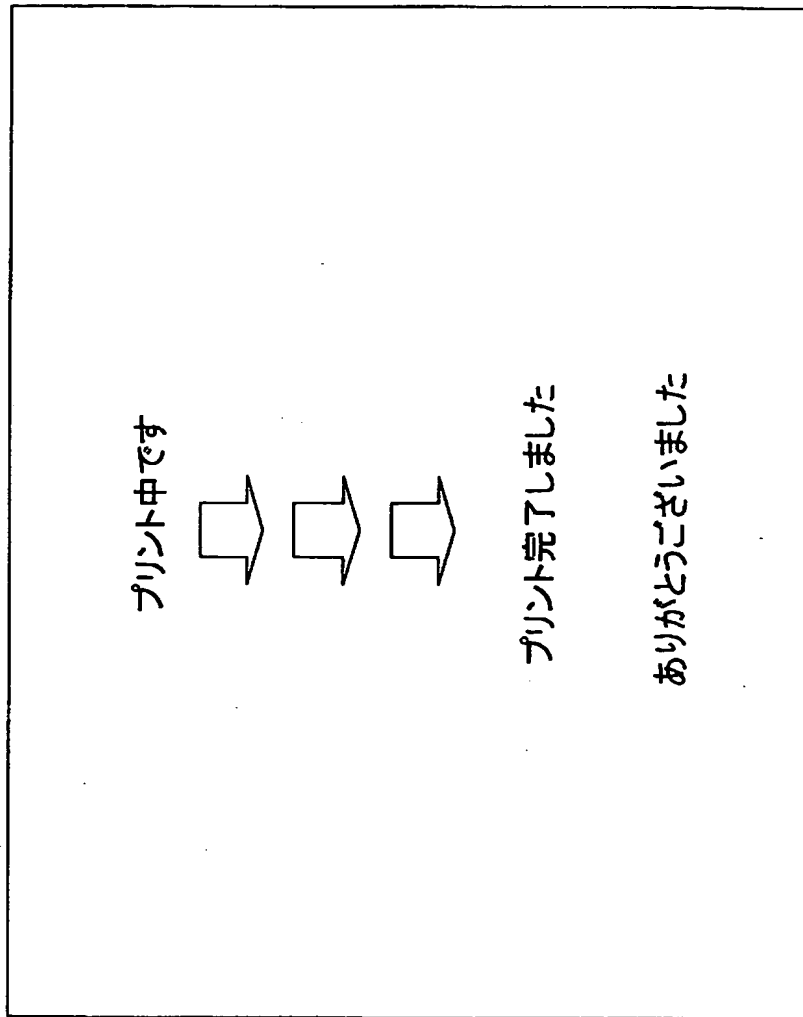
キャンセル

プリントしますか？

【図 29】



【図 30】



【図 3 1】

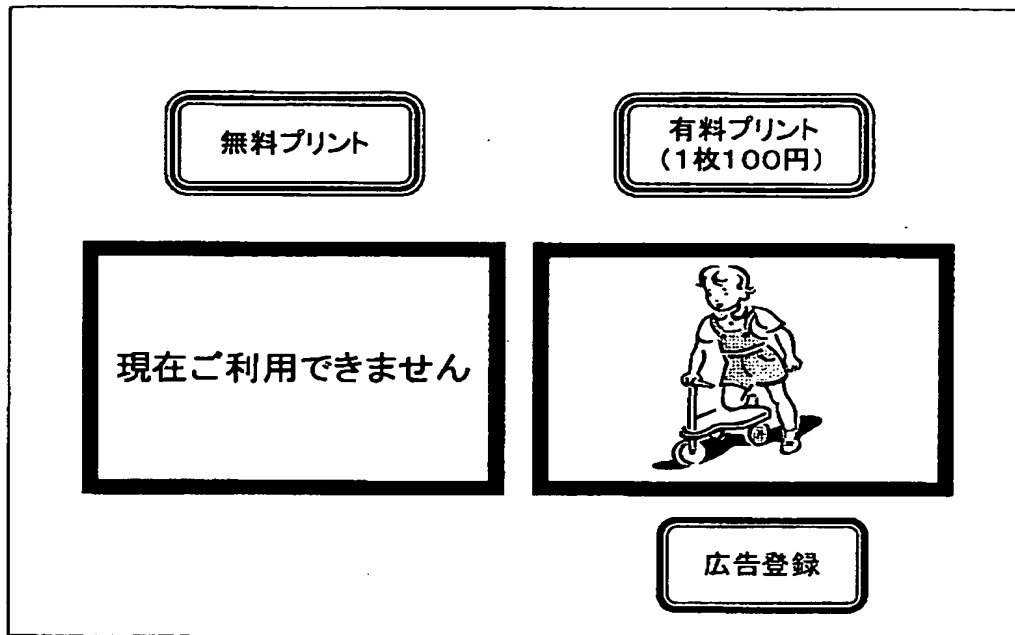
プリント枚数は？

1	100円	2	200円	3	300円	4	400円	5	500円
---	------	---	------	---	------	---	------	---	------

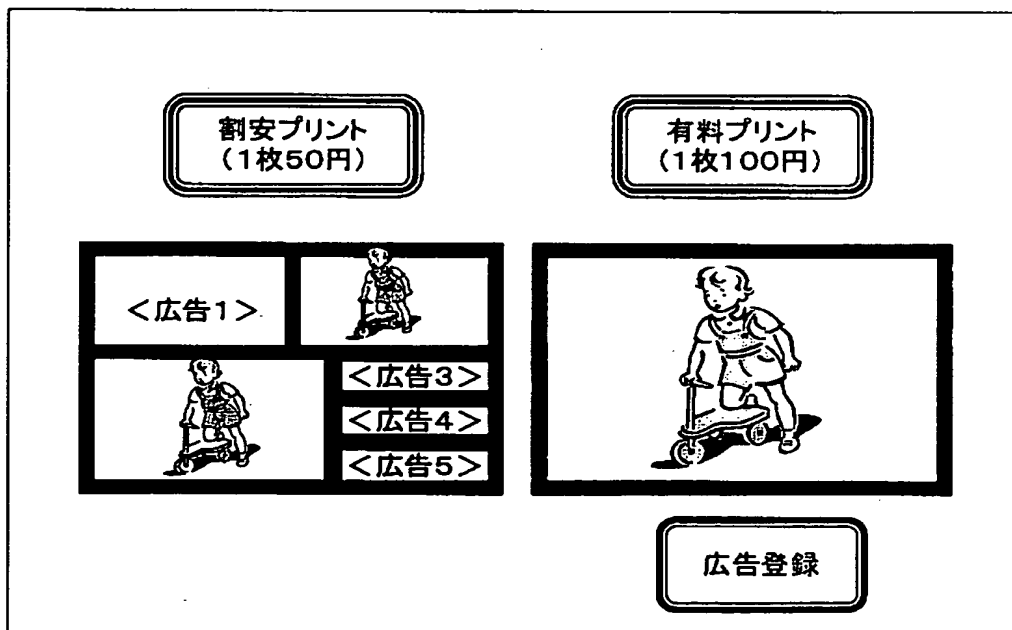
料金は200円です。

現金またはクレジットカードを挿入してください

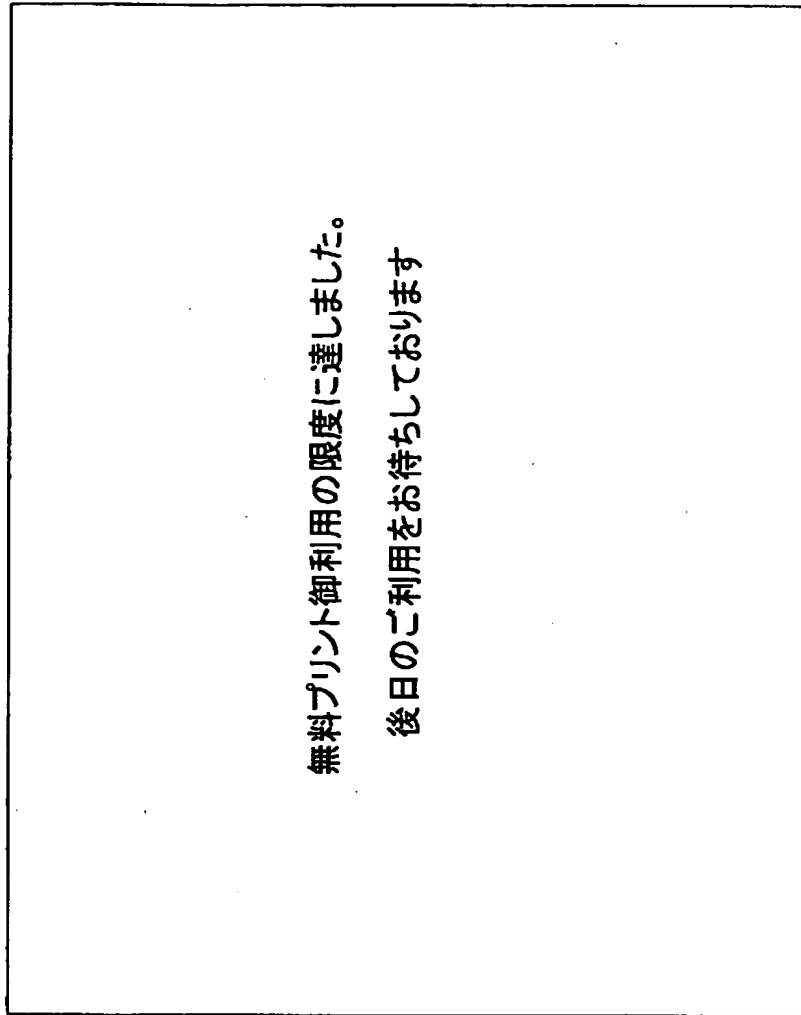
【図 3 2】



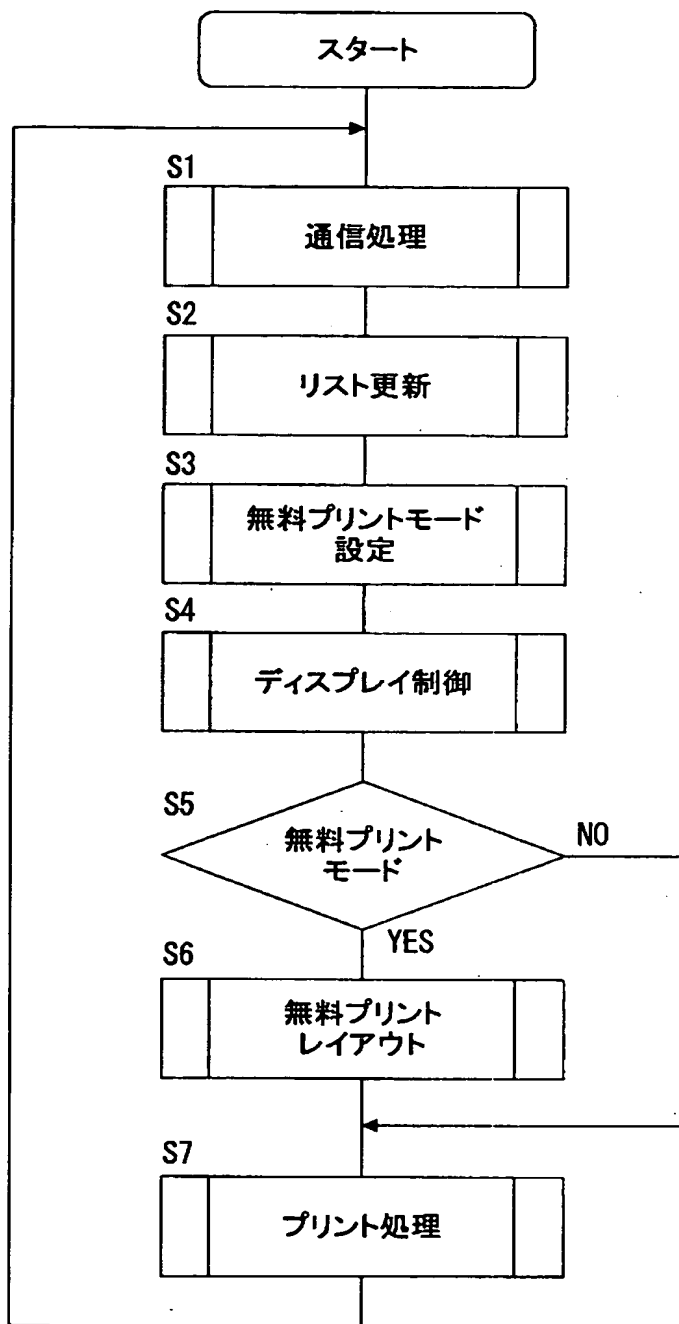
【図 3 3】



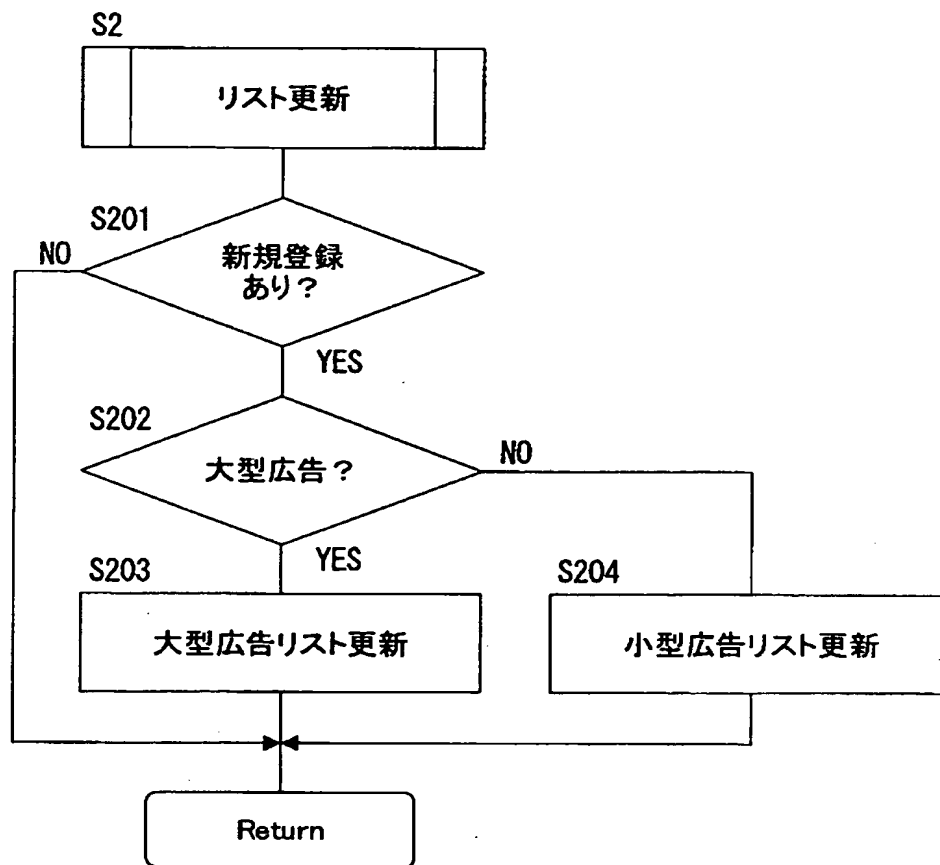
【図 3 4】



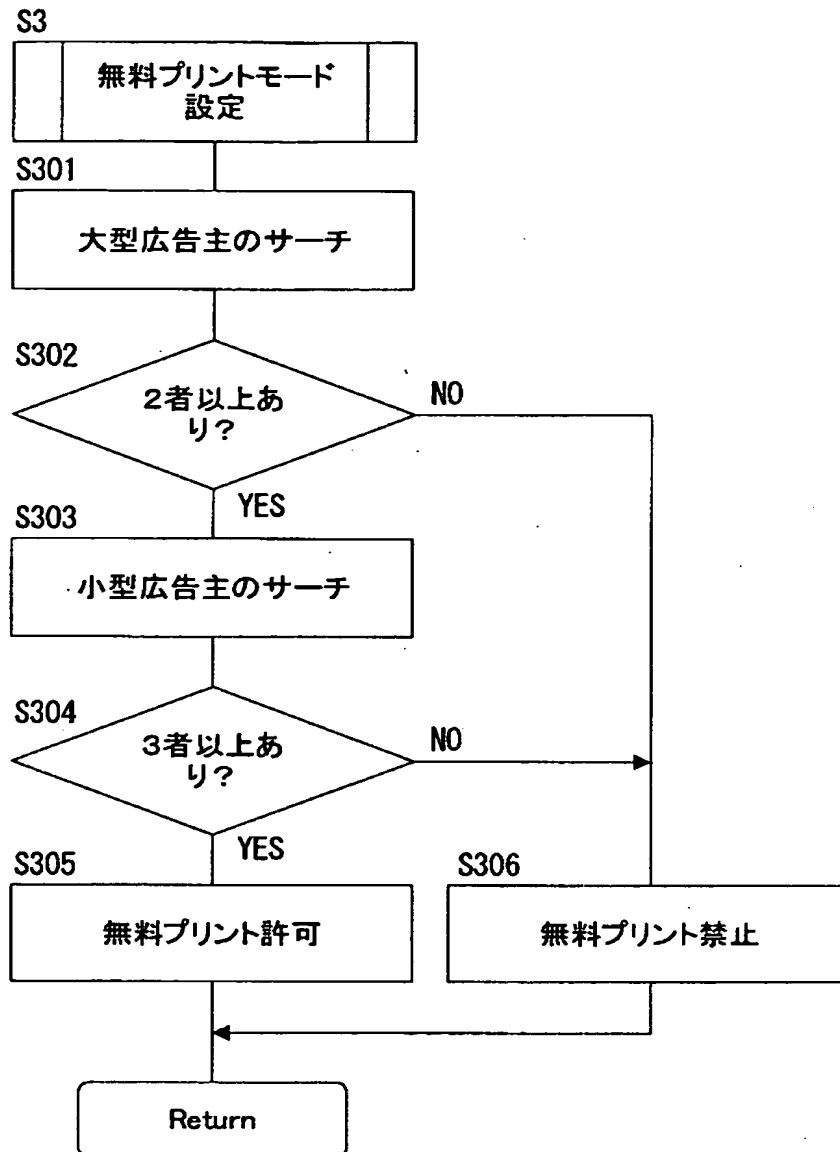
【図 3 5】



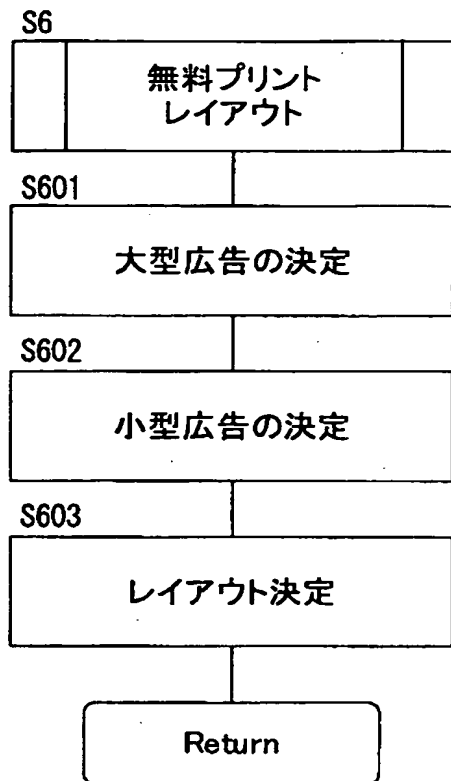
【図 3 6】



【図 3 7】



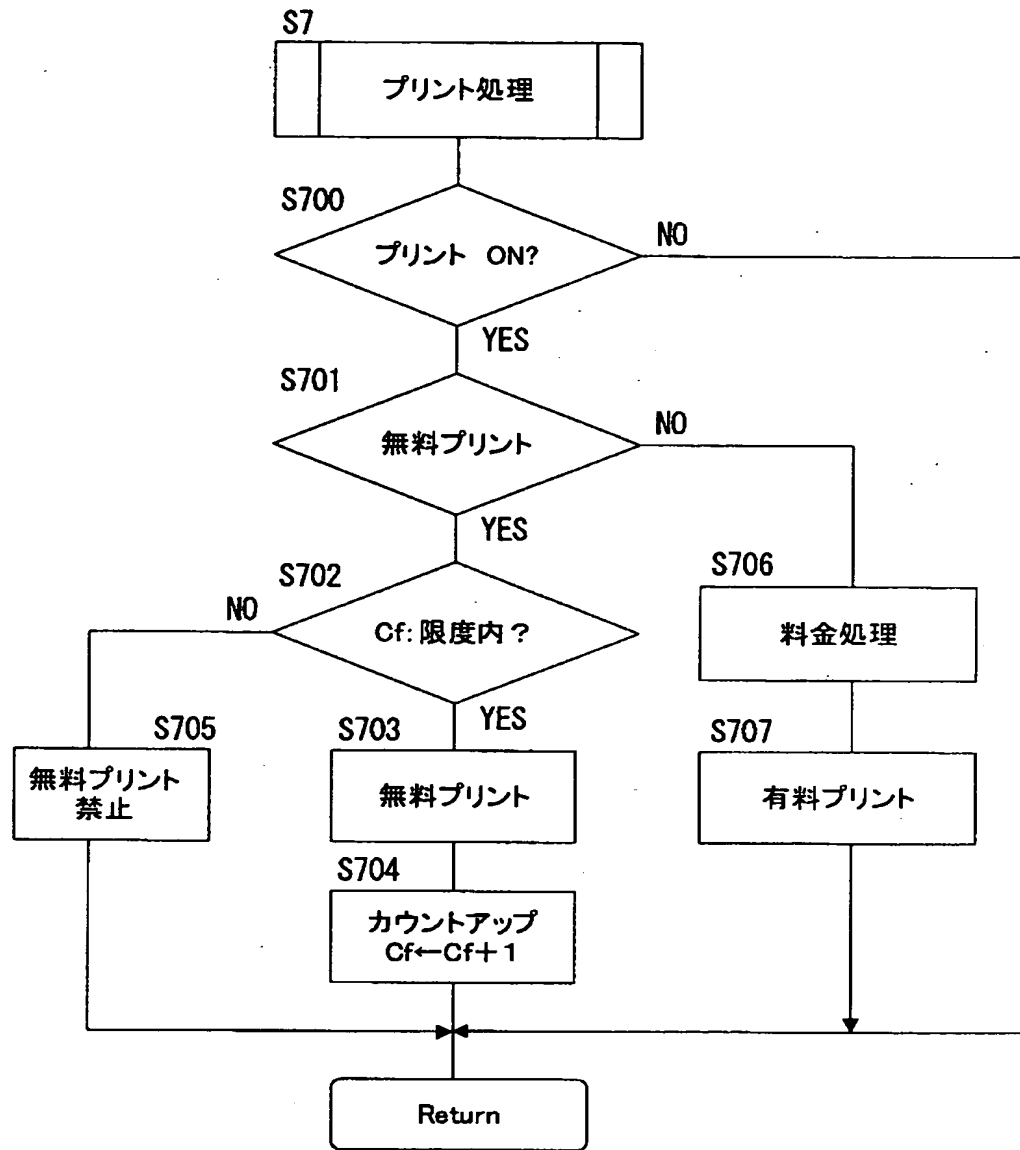
【図 3 8】



【図 3 9】

無料プリント	<広告1>	<広告2>	<広告3>	<広告4>	<広告5>
1	L1001	L1002	S1001	S1002	S1003
2	L1002	L1003	S1002	S1003	S1004
3	L1003	L1004	S1003	S1004	S1005
4	L1004	L1005	S1004	S1005	S1006
5	L1005	L1006	S1005	S1006	S1001

【図 4 0】



【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 ある程度の制限を設けることで、副画像が付加された高画質のプリントを、無料あるいは低料金で、より適切に提供することのできる画像出力システムを提供する。

【解決手段】 登録されている大型広告リストのサーチが行われ（S 3 0 1）、大型広告リストの中に、クレジットが1以上の大型広告主が2者以上存在するか否かが判断される（S 3 0 2）。該当する大型広告主が2者以上いない場合、無料プリントが禁止される（S 3 0 6）。該当する大型広告主が2者以上いる場合は、小型広告主のサーチが行われ（S 3 0 3）、クレジットが1以上の小型広告主が3者以上存在するか否かがチェックされる。小型広告主が3者以上存在しない場合は、無料プリントが禁止され（S 3 0 6）、該当する小型広告主が3者以上存在する場合は、無料プリントが許可される（S 3 0 5）。

【選択図】 図 3 7

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号 [000006079]

1. 変更年月日 1994年 7月20日

[変更理由] 名称変更

住 所 大阪府大阪市中央区安土町二丁目3番13号 大阪国際ビル
氏 名 ミノルタ株式会社

**This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning
Operations and is not part of the Official Record**

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:

- ☐ **BLACK BORDERS**
- ☐ **IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES**
- ☐ **FADED TEXT OR DRAWING**
- ☐ **BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING**
- ☐ **SKEWED/SLANTED IMAGES**
- ☐ **COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS**
- ☐ **GRAY SCALE DOCUMENTS**
- ☐ **LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT**
- ☐ **REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY**
- ☐ **OTHER:** _____

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.